	No. 16 —	1 基本事務事	業名 戦治	と者追悼式	式委託業務	事務事	業名 戦	没者追悼式委	託業務	公的関与	9 シ	′一ト作成日	令和5年	6月16日
	部局名	健	康福祉	邹	課名	社会福	业課	主務課長	名	笠井 孝彦	シー	ート作成者名	原田	多賀子
	事業区分	1 ソフト事	業		3 経常的事務事		5 補助:	金·負担金·支	:援	美運営方法	1 直		3 全	:部委託
	争未应力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	理	6 内部	管理事務・その	D他 事 ^分	建四万石		−部委託	✓ 4 補	助等
		基本構想(政策		やさしく健	やかな阿波			実施計画				€の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施	策))1 該当	令 和		~ 令	ì和 <mark>年</mark>	✓ 期間	設定なし
		主要施策					<u> </u>	2 非該当	根	拠法令等				
		対象(誰を、 何を)	日清・日	露∙第一次	•第二次世界大戦	戦没者の	貴族の方	が対象です。						
		目的(どういう状態にし	最終的	先の大戦	において亡くなら	れた方々を	追悼し、 ³	平和を祈念する	ために追悼	式を行います	0			
PL		たいのか)	今年度											
AN					ヽますか。(主なŦ									
N					し、追悼式の日程									
	事業の	\circ]文書を戸別郵送し、市			各地区役員会に出	席し、案内文書	書の配布依頼及び	内容説明を	を行います。会員じ	(外の方には	郵送しています。
	活動内容				土協及び市職員) る	を行います。)							
		<u> </u>	发、委託 3	变更契約書	書を作成します。									
		5		- 1 12		1 337 71		1 45-		A == .			<i>_</i> -	
		指標名		計算式入	(は指標設定理由	単位		令和 3		令和 4		令和 5		最終目標
	数値目標	遺族、来賓等の出席	常者数			人	目標		500		500		300	
	(事業の目的						実績		0		0			
	及び活動内 容の達成度						目標 実績							
	を測る指標)						日標							
							実績							
	予算費目	会 計				款	入假		項					
	7 97 24 1	Д III	슈	和 3	3 年度決算	令和	4	年度決算	令和	5 年	度予算		備考	
		国庫支出		11-	± FF			千円	17 11	- 1,		令和2年度・		年度は、新
			金		千月	9		千円			千円	型コロナウィ	ルスの拡	大を受け、
		地方	債		千F	9		千円			千円	追悼式を中」	上しました	
D	直接事業費	その他特定財	源		千F	9		千円			千円			
0		一 般 財	源		千日	9		千円		2,0	000 千円	1		
		計(A)			0 千F	9		0 千円		2,0	<mark>)00</mark> 千円]		
		正職員工数·紹	登 0.	人 800	49 千F	0.007	人	42 千円	0.007	<u>ا</u>	42 千円]		
	人件費(B)	会計年度任用職員	職種											
		会計年度任用職員工数	·経費	人	0 千F		人	0 千円		人	0 千円]		
		業費(A+B)			49 千F			42 千円		2 (142 千円			

				チェ	ック項目				一为	マ評価		_	·次評価(の説明			二次	評価	
		1.		くても、公平	性・公正性	tが確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	大	きい	戦没者追 を偲び、 ^ュ	悼式は、	遺族が戦		0	少ない		大きい
	必	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	度以降実施	立する緊急性が認	ぬられない。	0 :	ない	● ある	3	あるため、				0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の「	句上のために、:	現在の手段、	方法等の改善の余	余地がある。	0	ある	なし	L)					0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってい		4自治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	● いた	ない				i	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容が	「必ずしも適切とは	はいえない 。	0	いえない	● いき	える	遺族の高 毎年減少				0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、旅	逆策への貢献 原	度が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	● いき	える	の式典の	方法を見	直すこと	も必	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で類	質似・重複し	た事務事業が存	存在する。	0	する	● した	はい	要です。 ゴ 区の中学				0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	としても成果の	向上が期待	寺できない 。		0	できない	● でき	きる	誓いを読	み上げて	います。	•	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	記が劣ってい	いると思う。		0 1	目標に比	べて劣って	いる	市遺族会。				0	目標に比り	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果があ	まり上がっ	っていないと思う	j 。	O 8	あまり上た	がっていない	١	望していま	す。地区後	と員への西	记布か	0 7	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	 『を達成して	こいると思う。			概ね達成	えしている		ら個別案内 場・阿波地	区においる	て遺族名簿		0 ;	概ね達成	してい	გ
	/2	4.	目標設定に対	付して十分に目	標を達成し	ていると思う。)		せしている		確認を行っ	ております	۲,		•	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	こコストが高い	١,			O :	高い	● 適:	当	追悼式中				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウギ	新たな制度	要を活用できる。		0	できる	● でき	きない	していまし 会で記念	品の配布	を中止す	ると	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	、実施手段	段等を見直す余地	かある。	0	ある	ない	Ņ	の意向に 念品配布				0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	こどにより=	コスト削減の余地	也がある。	0 1	ある	ない	ر)	す。	. —	_		0	ある	•	ない
					一次	:評価							=	次評価					
	評値	西点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	!	必要性		剪效性	達成原	芰	効率性	生	総	合評	価
			4 ○ 七十 ★	4	4	<u>4</u>	A	1 hh		4		4	4		<u>4</u> `+¬-⇒	_		<u>A</u>	1 hh
		後の 句性	○ 拡大・充	実 ○ 現物 ★		 方法改善 廃止/休止	〇 民間委託	【寺	0	拡大・発 縮小	八	○ 現状 統合/終	維持		法改善 止/休.		〇 民間]安計	(寺
A	יו ני	-) IT					+ T 10 + + + + + +			州日八1 ,)	評価での					加遠占		
ACTIO		面の 題	り出席者は毎 ス感染症予防	年減少傾向に 対策の配慮は	あります。出 必要です。会	っでてきており、ま 席者は高齢者の 会場についてもア 寺の転倒防止に酢	ため、新型コロ エルワで開催し	ナウイ	イル Vま 遺抗		化によ	り、出席者	おおおおおおおおおおおおおおまままで	述少してし	いますが	が、戦	没者を追	悼す	るという
N	と 計	画	式典の案内文	【書の通知方法	を個別郵便	で統一し、名簿の)整理を行いま	\$.	コン	/セプトを も	もとに、	追悼式の	開催方法	を検討し	継続し	して実	施します	0	
		員会 事項																	

	No. 16 —	2 基本事務事	業名 社会	≩福祉協	議会育成事業	事務事	業名 社	会福祉協調	義会育	成事業	公的関与 2	シー	ート作成日	令和5年	E6月16日
	部局名	優	建康福祉	部	課名	社会福		主務語			井 孝彦	シー	·卜作成者		日 多賀子
	事業区分	○ 1 ソフト?	事業		3 経常的事務	事業 📗	5 補助	金•負担金	・支援	車業温	堂方法 =	1直	営	3 3	全部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	0	4 施設の維持	管理	6 内部	管理事務•	その作	也	10000000000000000000000000000000000000	2 —	部委託	√ 4 ∤	補助等
		基本構想(政	(策) 1.	やさしく仮	やかな阿波			実施計	画			事業	の開始・終	了	
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (5)	地域福祉	止の充実		<u> </u>	1 該当		令和	年 ~	令	和	ギージ 期間	引設定なし
		主要施策	(2)	地域福祉	Lを支える多様な	担い手の配	育成 🔼	2 非該当	á	根拠:	法令等				
		対象(誰を、 何を)	阿波市社	上会福祉協	3議会										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	地域福祉	上の担い手である	社会福祉協	議会の運	営の安定化	とを図り	り、もって地は	域福祉の推進	を図りる	ます 。		
P		たいのか)	今年度												
AN		具体的にどの	りような流	舌動を行し	いますか。(主な	もの5つま	で)								
N		① 社会福祉	協議会職	战員の人件	-費補助を行います	す。									
	事業の	2													
	活動内容	3													
		4													
		5													
		指標名	各	計算式	スは指標設定理の	由 単位		令和	3 年	F度	令和 4 年	度	令和	5 年度	最終目標
	数値目標	職員数					目標								
	(事業の目的	1995 30					実績			\rightarrow		\rightarrow			
	及び活動内						目標								
	容の達成度 を測る指標)						実績								
	で別る相保)						目標								
							実績								
	予算費目	会計			会計	款				項 1	社会福祉費		目		祉総務費
				和	3 年度決算		4	年度決		令和	5 年度 ⁻			備考	
		国庫支出			千				千円			千円			
		県 支 出	金		千				千円			千円			
	直接事業費	地方	債		Ŧ				千円			千円			
DO		その他特定則			+				千円			千円			
U		一般財	源		86,000 ∓			,	千円		86,000				
		計(A)	₩ 4	004	86,000 +				千円	0.004	86,000				
	人件費(B)	正職員工数:		004 人	24 千	円 0.004	<u>۸</u>	24	十円	0.004 人	24	千円			
	八什貝(D)	会計年度任用職員工		ı	0 ∓	ш	1	0	千円	<u> </u>	0	千円			
	△仕車:	<u></u>	以 中生 只	人	86 024 =		人	86 024		人	86 024				

					ック項目					— <u>}</u>	次評価			-次評価の				二次	評価	
		1.					「確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	大	きい		高いサー	ビスを挑	是供す	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次年	F度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	● あ	3	るため、? することに				0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向	句上のために、	現在の手段	〕、方	法等の改善の余	戻地がある。	•	ある	なり	い	ます。	3.必女にん	,,回,,⊂	/EX.C *	•	ある	0	ない
		4.		O低下がみられ ごスとなってい		隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	● い	ない				•	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容	『が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	● い	える	継続して				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	施策への貢	献度か	が著しく高いと	まいえない 。	0	いえない	● い	える	す。	119 CC 01	_/0.424		0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	6施策の中で舞	頁似・重複	した	:事務事業が存	在する。	0	する	● Ut	ない					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できない	● で	きる				•	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標にと	とべて劣って	いる	新型コロ	ナウィルス た上で、社			0	目標に比	べて劣	っている
	達世	2.	目標設定に対	付して成果があ	あまり上か	うて	いないと思う	0	0	あまり上	がっていない	١	会が地域	の高齢者	や障が	い者	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達成			に対する を行い、t	多様なサ· 也域と連携			•	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成	えして	いると思う。		0	十分達度	艾している		活動をして	ています。		-	0	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	こコストが高い	, \ _0				0	高い	● 適	当	行政と社会	会福祉協 遂行する。			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	*のノウハウ*	か新たな制	度を	活用できる。		0	できる	● で	きない	と思われ	ますが、独	は立した	法人	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	な	۱۱.	であるたる	め、手法等 ると思われ			•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	力方法の変更な	ょどにより	コス	ト削減の余地	がある。	0	ある	な	ر،				,	0	ある	•	ない
					_	次評	価						•	=	次評価					
	評値	点	必要性	有効性	達成原	茰	効率性	総合評	価		必要性	7	有効性	達成原	吏	効率性	生	総	合評	価
	<u>م</u>	後の	3 ○ 拡大·充	 4 注	<u> 3</u> 光維培		3 方法改善	A ○ 民間委記	千笙	O	3 - 拡大・3	<u> </u>	4 ┃○ 現状	<u>3</u> に維持		3 法改善	É		A 『委記	华
A		句性	○ 縮小	○ 統合/終			廃止/休止	〇 民间安日	<u> </u>	-			統合/終			<u> </u>		O DOIS	1340	
A				•							112 1		評価での					の相違点	į	
TIO	当課	ᄪ	及び地域福祉	Lの指針の支援	そ行うこと	は必	で補助すること 要です。しかし 力が求められ	、機構改革、 第		事 事: め	自主事業	等の楨	業運営及で 食討が必要	です。行政	女の実施	事業に	こつい	て、社会	福祉	協議会
N	と身 計	画	引き続き、地域 祉の安定化を				祉協議会へ補 す。	助することで、	地域社				ウハウや人 討し進めま		積極的	に活用 ⁻	するこ	とが可能	能な事	業につ
		員会 事項																		

	No. 16 —				絡協議会支援事業							シート作成	日 令和5	5年6月16日
	部局名	健	康福祉		課名	社会福		主務認		笠:		シート作成		田 多賀子
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務			助金·負担金		車業津		1 直営		3 全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持作	管理() 6内	部管理事務·		1 学术进		2 一部委託		補助等
		基本構想(政			やかな阿波			実施計	画			事業の開始		
	総合計画	基本計画(施						● 1 該当		令和	年 ~	令和	年 🛂 期	間設定なし
		主要施策	(2)	地域福祉	を支える多様な	:担い手σ)育成	○ 2 非該当	á	根拠流	去令等			
		対象(誰を、 何を)	阿波市市	ジランティア	連絡協議会									
		目的(どうい う状態にし	最終的	住民満足	度の高いサービ	スを提供す	するため	、ボランティア	団体等の	の福祉活動	を育成、支援し	ていきます。		
PL		たいのか)			度の高いサービ			、ボランティア	団体等の	の福祉活動	を育成、支援し	ていきます。		
AN					きすか。(主な									
N)	ア連絡協	議会への	活動補助金の交	付を行い	ます。							
	事業の	2												
	活動内容	3												
		4												
		<u></u>												
		指標名	<u> </u>	計算式又	(は指標設定理)	由 単位			3 年	度 2	令和 4 年度	- 令和	5 年度	最終目標
	数値目標	会員数					目標			400		204		
	(事業の目的						実紀			466		384		
	及び活動内 容の達成度						目標							
	を測る指標)						実制							
							実統							
	予算費目	会 計			 会計			え <u>ー</u> 民生費		項 1	社会福祉費		1 社会	富祉総務費
	77721		一	`和 3					算 イ		5 年度予		備者	
		国庫支出			Ŧ				千円	1- 11-		千円	,,,,,	
		県支出			千	円			千円		:	千円		
	本拉市米弗	地方	債		千	円			千円		-	千円		
D	直接事業費	その他特定則	オ源		千	円			千円		:	千円		
0		一 般 財	源		1,330 ∓	円		1,330	千円		1,330	千円		
		計(A)			1,330 千			1,330	千円		1,330	千円		
		正職員工数·約	経費 0.	004 人	24 千	円 0.004	4 人	24	千円 0	0.004 人	24	千円		
	人件費(B)	会計年度任用職員	職種											
		会計年度任用職員工数	女·経費	人	0 ∓		人		千円	人	0			
		業費(A+B)			1,354 千	ш		1,354	千四		1,354	£ 🗆		

					ェック項目					_	·次評(西		_	-次評価の	の説明	月		二次	評価	Б
		1.					が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	• •	大き	い	かボラン	害等が発 ティアの育	成に	ついて	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	^代 況の中、次	年度以降到	尾施す	トる緊急性が認	忍められない	. 0	ない		ある			す重要度 ^を が支援する。			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の応	句上のために.	現在の手具	没、方	法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない			か又接する)幅が広が			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサーヒ			丘隣自	目治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	•	いなし	い	す。				0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するため	こ、事業内容	容が必	がずしも適切とに	まいえない。	0	いえな	ı (🌘	いえる	3		上協議会と た活動の			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い 💿	いえる	3	必要であ	り、行政か	総続	して支	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で	類似・重複	复した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	•	しなし	۱,	援するこ できます	とで事業 <i>0</i> 。)成集	い期待	0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	としても成果	の向上が其	明待で	ごきない 。		0	できな	ι	できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗状	況が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて	劣ってい	る		Lの充実を 雲を達成し [−]			0	目標に比	べて劣	つている
	達	2.	目標設定に対	けして成果が	あまり上た	バって	こいないと思う	5 。	0	あまり_	上がってl	ハない		新型コロ	ナウイルス	(感染	症の影	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	 けして概ね目	標を達成し	してし	·ると思う。			概ね達	成してに	いる			、参加を見 へており、参			•	概ね達成	してい	る
	/2	4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達成	戈して	こいると思う。		0		成して			しており		, <u> </u>	13 1194.9	0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高	را _°				0	高い	0	適当	i		ィア連絡協			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	トのノウハウ	や新たな制	訓度を	<u> </u>		0	できる	0	できた	ない		、行政がす 率性を高ぬ			0	できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係	で、実施手	F段等	手を見直す余地	 也がある。	0	ある	•	ない						0	 ある	<u> </u>	ない
	1						スト削減の余地		0	ある	0	ない						0	ある		ない
						次評				$\overline{}$					=	次評	価				
	11年	西点	必要性	有効性	達成	度	効率性	総合	評価		必要	性	4	有効性	達成原	支	効率	生	総	合評	価
			<u>4</u>	4	3	Ι 🔿	4	A	-		4	<u> </u>		<u>4</u>	3		<u>4</u> + \+ ¬L ≥	<u> </u>		<u>A</u>	
		後の 句性	○ 拡大・充		状維持 終期設定	0	方法改善 廃止/休止	〇 民間委	計寺		」 拡∶○ 縮₂	大・充	美	● 現物統合/終			方法改善 廃止/休] 安記	t寺
A	יו נכ	키エ	○ 州日小、	○ 机口/			廃止/ 怀止			_	<u>)和日4</u>	-)指摘事項				の相違と	<u> </u>	
ACTIO		題	策に配慮し、こ	これまで行っ [・]	てきた事業の	の継続	加者が減少した 売と、新たな会 夫が必要です	員の加入促進		きる	, 西 / - г				り補助金			-			
Ň	と事 計	革案 実行 画					事業の継続と、 るような工夫が)加入(y女 〜	 С ,	、/白罗	IJ1∖\/JUI⊂d	、ソ州列並	ツ 元 l	旦し守でか	大司」し	神色がたしま	7 0	
		員会 i事項																			

	No. 16 —	4 基本事務事	業名 民生	児童委	員協議会選	運営事務	事務事	業名 民	生児童委員協調	義会運営			ート作成日	令和5年	6月7日
	部局名	優	建康福祉·	邹	課	名	社会福祉	祉課	主務課長	名	笠井 孝彦	シー	-卜作成者名	柏フ	卞 咲良
	事業区分	○ 1 ソフト?			0 121137				金∙負担金∙支		業運営方法	1 直			部委託
	争未区力	○ 2 ハード			1 11515		理	6 内部	管理事務・その	の他 ^ザ	未连舌刀心	2 -	·部委託	☑ 4 補	助等
		基本構想(政				可波			実施計画				の開始・終っ	了	
	総合計画	基本計画(施			祉の充実)1 該当			F ~ 令		□ 」期間	設定なし
		主要施策	(3)	地域で	支え合うネ	ットワーク	クづくり	C	2 非該当	木	艮拠法令等	民生委員	法		
		対象(誰を、 何を)	民生委員	児童委	員										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的		員児童委員 カ活動を推選				り、充実した研修 ます。	を通し、は	地域に密着し	た存在として	住民の生活	状況の把握	を、的確な相
PL		たいのか)	今年度												
A		具体的にどの	りような活	5動を行	いますか。	(主なも	の5つま	で)							
N		① 民生委員及	び民生委員	事務局と	して、委嘱・解・	属•改選関係	、民生委員	活動の援	助並びに活動費補助	力金事務、協	議会諸事業の過	■営、県をはじめ	、関係機関との	連絡調整全船	没を行います。
	事業の	② 年1回の	総会並び	に全員の	F修会、年数	対回の主任	児童委員	骨研修会	、年数回の役員	会を行い	ます。また、名	5地区民児協	協定例会にお	いて研修会	を行います。
	活動内容	③ 福祉関係	等の調査	や、各種	重福祉施策。	への協力で	を行います	た。							
		•							ス等様々な活動の		別養護老人ホ	ーム、障がい者	施設のイベント	の手伝い・慰	問を行います。
		_						·ロール活	舌動を行います。						
		指標名	•	計算式	又は指標語	设定理由	単位		令和 3		令和 4		令和 5		最終目標
	数値目標	民生委員児童委員	員·主任児				人	目標		108		108		108	
	(事業の目的	童委員の数						実績		108		108		4500	
	及び活動内 容の達成度	相談支援件数					件	目標		4500		4500		4500	
	を測る指標)							実績目標		2109		2138			
								実績							
	予算費目	会 計					款	入根		項		L	目		
	77721	A 11	一一个	·和	3 年	度決算	令和	4	年度決算	令和	5 :	年度予算	Н	備考	
		国庫支出	金			千円			千円			千円		1	
		県 支 出	金		8,	154 千円			8,138 千円			8,154 千円			
	直接事業費	地 方	債			千円			千円			千円			
D	旦汝尹未其	その他特定則	財源			千円			千円			千円			
0		一 般 財	源			363 千円			2,447 千円			2,423 千円			
		計(A)				<mark>517</mark> 千円			10,585 千円			<mark>0,577</mark> 千円			
	1. (i) =th (i)	正職員工数:		333 人	2,0	<mark>028</mark> 千円	0.333	人	2,012 千円	0.333	人	<mark>2,018</mark> 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員													
	۸ 44 + ۱	会計年度任用職員工	数·経費	人		0 千円		人	0 千円		人	0 千円			
	全体争员	業費(A+B)			12,	<mark>545</mark> 千円			12,597 千円		1	<mark>2,595</mark> 千円			

					ック項目				一次	(評価		_	-次評価⊄)説明		二次	評価	í
		1.				が確保できる等 影響は大きくな		O 4	少ない	大	きい	図り、市と社会	会福祉協議会。	冨祉活動の推進る ≤が連携して活動 爰のみでなく、単・	E U	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	F度以降実施 ⁻	する緊急性が認	忍められない。	○ <i>t</i>	まい	● あ	3	民児協組織と	して関係団体	との連携や、地域 も必要になり、ぞ	t O	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	句上のために、	現在の手段、	方法等の改善の	余地がある。	O ð	5 5	ない	い	政として関与	すべき事業で、	活動を支援する民福祉の向上に	= 0	ある	•	ない
		4.)低下がみられ ごスとなってし		自治体と比較し	ノてニーズを -	O 1	いる	● い	ない	可欠です。				いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容が	必ずしも適切とロ	まいえない 。	<u></u> ι	いえない	● い	える			相談役とし)推進役とし	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、旅	施策への貢献度	が著しく高いと	はいえない。	Ο ι	いえない	● い	える	て大きな	期待が寄せ	さられている		いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で類	頁似・重複し	た事務事業が存	存在する。	O 9	する	● した	ない	ので、地球		の期待はプ		する	•	しない
KOHHOK		4.	事業の継続を	としても成果σ)向上が期待	できない。		0 7	できない	● で	きる				0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣ってい	ると思う。		0 1	標に比	べて劣って	いる			協議会への		目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果があ	sまり上がっ [.]	ていないと思う	5 。	() to	きり上か	「っていない	١	するなど、	、委員の知	識、技術の		あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目標	票を達成して!	いると思う。		〇 根	既ね達成	こしている				È民の生活。 切な対応を[概ね達成	してい	გ
	/2	4.	目標設定に対	付して十分に目	目標を達成し	ていると思う。				たしている		ろうとして		27.627176.61		十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	١,				高い	適	当			こ、社会情勢の		高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハウギ	り 新たな制度:	を活用できる。		0 7	できる	● でき	きない	が増大する	なか新たなま	で援を必要とす 舌動に取り組ん	る	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関係で	·····································	等を見直す余均	 也がある。	O å	 ある	ない	l,	でいくことが	求められてし	います。国の基 置されており、き	準	ある	•	ない
	-	4.	電子化や契約	力法の変更な	よどによりコ	スト削減の余地	 也がある。	O å	 ある	ない	l,			展開していきま		ある	•	ない
					一次訂	平価			Т			, ,	=;	欠評価				
	評値	五点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	Ų	必要性	4	有効性	達成度	対◎	ጆ性	総	合評	価
			4 ○ 拡大·充	 4 :実	│ 4 Ŀ‱±±	<u>┃ 4</u> □ 方法改善	○ 民間委 記	1.生	0	4 拡大∙3		4 	4 	<u></u>	, · 羊		A 『委訳	工生
		後の句性	○ 拡大・発	(美 ① 現 / (() 統合/終		<u> </u>	○ 民間委詞	7 守	- $\frac{1}{0}$	縮小	元美	統合/終		○ 廃止/		U KIE	少	[寸
A	731	311				策に関する相談	炎、支援の強化	等活動		사ID 4 J				及び一次		の相違点	į	
40H-0	当面	面の				。福祉制度が頻						дт ра	THING I. V		·		•	
Ī	課	題	修会や説明を 各種福祉制度	の継続的に必 の知識が必要)妛でめります 「です。独居老	。また、住民から 人等を対象とし	oの相談を受け た日頃から要‡	るため 爰護者ほ	, P									
ON			守り支援の継	続的活動が必	要となります。				그녀는 분들	越福祉向	上 <i>の†-</i>	·めの. 更か	なる連携や	協力、支援	を行っ	ていきます	-	
17.		文字	氏生安貝目期:	変貝理絡協議会 った運営をして∤	は、新型コロナ おります。補助st	ウイルス感染症対 含がその活動に更	可束を考慮した年 に有効に活用さ	・	~ □								Ü	
	きま	ミ行 画	助言指導をして	いきます。地域であるため、強力・支持	福祉活動の先導	算的役割を担って	いる活動に対して	て、地域	福									
		会	世の向上を図る	5/には、独力・文1	友で打いより。													
		事項																

	No. 16 —	5 基本事務事業	業名 婦人	、団体連合	合会育成事業	事務	事業名	婦人団体	連合会	₹育成	事業	公的関与	2 シ	一卜作成日	令和5年	丰6月7日
	部局名	健.	康福祉	邹	課名	社会	福祉課	É	務課長	名	<u>笠</u>	井 孝彦	シー	-卜作成者		木 咲良
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務			輔助金∙負			車業運	営方法		営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	特管理	O 6 p	内部管理		の他	事 未足	古刀丛		·部委託		補助等
		基本構想(政策			やかな阿波				拖計画					の開始・絲		
	総合計画	基本計画(施		地域福祉				● 1 討			平成	17 年	<mark>~</mark> 令	和	年	間設定なし
		主要施策	(2)	地域福祉	を支える多様	な担い手	の育成	○ 2 非	該当		根拠	去令等				
		対象(誰を、 何を)	阿波市婦	人団体連	合会											
	事業の 対象・目的	目的(どうい : う状態にし -	最終的		の婦人会の相: 亡しています。	互の連絡	を密にし	、社会福祉	及び地	域文化	の発展に	寄与してい	いる市婦ノ	人団体連合	会への育成	・支援を行うこ
PL		たいのか)	今年度													
AN		具体的にどの														
N)	り婦人会	の相互の説	車絡を密にし、社	t会福祉及	び地域に	文化の発展	に寄与	している	る市婦人[団体連合会	への育成	・支援を行	うことを目的	としています。
	事業の	2														
	活動内容	3														
		4														
		5		- 1 13		- I W			T			A == .		A		
		指標名		大元県信	は指標設定理	里由 単作			う和 3	年度	٤	令和 4	4 度	令和	5 年度	最終目標
	数値目標	会員数				人		標			040		0.40			
	(事業の目的							績			240		240			
	及び活動内 容の達成度							標 :績								-
	を測る指標)							標								
								績			-					
	予算費目	会 計					款	小只			項					
) // X L	ДП	一	和 3	年度決			<u> </u>	度決算	令			度予算	1 11 1	備考	
		国庫支出		1111		万 円		<u> </u>	~// // 千F			- 17	千円		1/13 - 3	
			金			千円			ŦF				千円			
		地方	債			千円			千F	_			千円			
D	直接事業費	その他特定財	源		:	千円			千F	9			千円			
0			源		1,650	千円		1,0	50 ∓F	9		1,6	650 千円			
		計(A)			1,650	千円		1,0	<mark>50</mark>	9		1,6	650 千円			
		正職員工数·紹	圣費	人	0	千円	人		0 ∓F	9	人		0 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員	職種													
		会計年度任用職員工数·	·経費	人	0		人		0 ∓F		人		0 千円			
	全体 車	業費(A+B)			1,650	壬四		1 (<mark>50</mark> 千F	9		16	550 千円			

					こック項目					一 岁	欠評估	<u> </u>	_	-次評価	の説明	明		二次	評価	i
		1.		なくても、公 、事業を廃止					0	少ない	•	大きい		の地域で 受する団体			0	少ない	•	大きい
	必	2.	厳しい財政料	伏況の中、次 年	丰度以降美	に施す ・	る緊急性が認	ぬられない。	0	ない	0	ある	す。				0	ない	•	ある
	要性	3.	住民満足度の	向上のために、	現在の手段	设、方 法	去等の改善の余	余地がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
	_	4.		の低下がみられ ビスとなってし		[隣自	治体と比較し	, てニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するために	、事業内容	学が必ず	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	•	いえる	婦人団体	の地域で そする団体	の活	動は、行	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への貢	献度が	著しく高いと	はいえない。	0	いえない	•	いえる	す。	2 7 VIII 14		. Z. Z. C	0	いえない	•	いえる
CH	効性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない					0	する	•	しない
E		4.	事業の継続る	をしても成果の	の向上が期	待で	きない。		0	できない	•	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に比	こべて学	合っている		L、人権教 F地域婦ノ			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果がる	あまり上か	「って」	いないと思う	, .	0	あまり上が	がってし	ない	期待され	、行政が	育成を	支援す		あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	票を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達成		 いる	一 ることで- す。	十分目標	を達成	していま	0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を達成	えして	いると思う。		•	十分達成	붗してに	る					•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	,۱ _°				0	高い	0	適当		てはマンス			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できない		Æ (7 <i>)</i> //	III I	りりみ	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員の	と成果の関係	で、実施手	段等	を見直す余地	がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更を	などにより	リコス	ト削減の余地	がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
						次評値									次評	-				
	評値	五点	必要性	有効性	達成原		効率性	総合評	価		必要	性	有効性	達成	度	効率	性	総	合評	価
	全名	後の	4 ○ 拡大・弁	<u> 4 </u>	 4 		4 方法改善	A ○ 民間委i	千生	0	4 拡っ	<u>_</u> 大∙充実	4 ┃ ◎ 現物	<u> 4 </u> 犬維持		4 方法改	盖		A 『委』	 千 生
Α		う性	○ 縮小		以期設定		発止/休止	O MINST		-						<u> </u>		0 101	13 2 1	<u> </u>
C												二 ž	欠評価での					の相違点	į	
T-0	当課	題	現状維持で引	事業を実施して	います。					\	EL .I IS SI	7/- 1/1	» — , , , , , ,	· 1-2-01	. = +	. *** ** 10.	.	- All At 1	L	
N			現状維持で引	事業を実施して	います。					古	助状为	てにより、	必要に応じ	∵無助金0.	7兄旦	し寺を傾	ijして	. 継続しま	9 0	
		●会 事項																		

	No. 16 —	6 基本事務事業	名 心身障害!	見(者)右	E宅介護等支援事	業事	務事業名	心身	障害児(者)	在宅介	護等支援事	業	公的関与 5 シ	ノート作成日	令和5年	F6月23日
	部局名	健康	福祉部		課名	社会	会福祉課	1	主務認	果長名	i	笠井		ート作成者名		本 佳代
	事業区分	● 1 ソフト事業	-		3 経常的事務		_		金·負担金			生油 1		直営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード事	• • •		4 施設の維持	管理	061	内部領	き理事務・		他	足足的	2 -	−部委託		補助等
		基本構想(政策							実施計	画				€の開始・終		
	総合計画	基本計画(施策						•	1 該当		平月			î和 ^左	F J 期間	間設定なし
		主要施策	(1)障か	い者	サービス提供	体制の	充実	0	2 非該当	á	根	拠法	:令等			
		対象(誰を、 何を)			の心身障害児(
	事業の 対象・目的	目的(どうい 最 う状態にし			身障害児(者)の 家族に生活支援			かじめ	阿波市に	おいて	[登録され	てい	る介護者(登録介	護者)に一時	的に委託す	けることにより、
PL		: "	·年度													
AN		具体的にどのよ														
N)											サービスを行いま	す。		
	事業の	② 登録利用者	に送迎サー	·ビス(j	送迎先において	て引き続	き介護サ	ービス	スを行う場合	合を除	く)を提供	しま	す。			
	活動内容	3														
		4														
		5														
		指標名			は指標設定理		位	- I=	令和	3 1	年 度	兌	和 4 年度	令和 5	年度	最終目標
	数値目標				じめないため、記	2		標								
	(事業の目的		正	きませ	「 ん 。			ミ績								
	及び活動内 容の達成度							目標 <u>−</u> €績								
	を測る指標)							<u>►視_</u> ∃標								
								1 <u>标</u> E績								
	予算費目	会 計		一般的	슬 計			民生	L = 費		項	1 7	社会福祉費	目 2	2 障害者	福祉費
	, ,, ,, ,,	A 11	令和	3		第 一	和	4	年度決	算	令和	5			備考	ТШТЕРС
		国庫支出金				f円	- 111			千円			千円		,,,,	
		県支出会			Ŧ	千円				千円			38 千円	1		
	古拉古米弗	地 方 信	責		Ŧ	f円				千円			千円	1		
D	直接事業費	その他特定財派	亰		Ŧ	千円				千円			千円	1		
0		一般財源	亰		6 =	千円			6	千円			59 千円	1		
		計(A)	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5		6 1	千円 一			6	千円			97 千円			
		正職員工数·経費	隻 0.018	人	110 1	f円 0.	.018 人		109	千円	0.018 .	人	109 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員職	種													
		会計年度任用職員工数·経	費	人	0 7		人			千円		人	0 千円			
	全休事	業費(A+B)			116 =	- 四			115	千円			206 千円	1		

					チェ	ック項目					_	次評值	西		_	-次評価(の説り	明		二次	評価	ī
		1.						が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大き	い	が安心し	『児(者)及 て地域生	活を約	継続する		少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	状況(の中、次年	F度以降 第	€施す	「る緊急性が認	ぬられない。	0	ない		ある		ことができ	きるよう行 は高いで	政が:	支援を行	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の	向上0	のために、	現在の手段	殳、方	法等の改善の無	余地がある。	0	ある	•	ない		つ必安性	は向いて	9 。		0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ 上回るサー				I 隣自	目治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いない	い					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現す	するために	、事業内容	字が必	がずしも適切とは	はいえない。	0	いえな	γ (O	いえる	3		法に規定 サービス			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマ	ンネリ	化など、抗	施策への貢	献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	n 💿	いえる	3	いもので		10. [7]	-γ) (± 4 γ □)	0	いえない	•	いえる
CH	効 性	3.	市が実施す	る施策	策の中で 類	類似・重複	复した	- 事務事業が存	在する。	0	する	0	しなし	l1					0	する	•	しない
E		4.	事業の継続	をして	ても成果の	の向上が期	明待て	できない。		0	できない	γ (できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に	対して	て進捗状況	兄が劣って	こいる	ると思う。		0	目標に	比べて会	劣ってい	る	利用があ	る年とない らつきが			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に	対して	て成果があ	あまり上か	べって	こいないと思う	j _o	•	あまり上	_がってし	いない		туті⊂ів	(O) J C 10 (ソソチ	· 7 o	•	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に	対して	て概ね目標	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に	対して	て十分に目	目標を達成		こいると思う。		0	十分達	成して	いる						0	十分達成	してに	る
		1.	効果に比べ	てコス	ストが高し	, \ ₀				0	高い	0	適当	í		『児(者)と 域生活を			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主	体のノ	ノウハウヤ	や新たな制	削度を	た活用できる。		0	できる	•	できた	ない	業として、	スエルで、コストに			0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員	と成り	果の関係で	で、実施手	-段等	ទを見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない		いです。				0	ある	•	ない
		4.	電子化や契	約方法	去の変更な	よどにより	ノコス	スト削減の余地	しがある。	0	ある	0	ない						0	ある	•	ない
							次評	•• •				•				=	次評					
	評值	西点	必要性	7	有効性	達成	芰	効率性	総合評	価		必要	-	1	与 効性	達成	芰	効率	生	総	合評	価
	全名	を の	4 ○ 拡大・:	 充宝		<u>2</u> 犬維持	0	4 方法改善	A ○ 民間委詞	千筀		<u>4</u>)拡:	 大 · 充	<u></u> 宔		<u> 2</u> ├維持		4 方法改善			A 『委』	チ <u>等</u>
Λ		句性	○縮小	TO	統合/終		ŏ	廃止/休止	0 2014794					Ô	統合/終		_	<u> </u>		0 201		
A														二次	評価での		頁及(ゾー次評	価と	の相違点	į	
TIO			更に利用者 ることができ				者)及	なびその家族が	安心して地域	生活		· 坐 の 「	∄ ∕⊓ <i>∕</i>	IWI LI	.v +v.+	- 揺の大は	= 1 — 4 ⊽	· k + +				
N			利用の増加	を図る	ため、広幸	報などで周	別知し	ます。]#	・未の	ᆿ재산	凶り	、必要な支	(仮り元き	₹I〜労	がみり 。				
		会 事項																				

	No. 16 —	7 基本事務事	業名 市身	身体障害者	占会育成事業	事務	8事業名	市身	}体障害者会	₹育成	戈事業	公的関与	9 シ	ート作成	日	予和5年	6月30日
	部局名	侹	康福祉	部	課名	社会	≩福祉課		主務課長	名	笠	井 孝彦	シー	−ト作成者	名	坂耳	東 裕子
	事業区分	○ 1 ソフト?			3 経常的事務				È∙負担金∙ラ		車業温	営方法	1 [部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	持管理	6 p	勺部管	雪理事務・そ	の他	争未连	占刀压		-部委託		✓ 4 裤	助等
		基本構想(政							実施計画					の開始・	終了		
	総合計画	基本計画(施			支援の充実				1 該当		令和	年	<mark>~</mark> 令	·和	年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(2)	啓発•交流	流活動等の推	進		0	2 非該当		根拠流	去令等					
		対象(誰を、 何を)	身体障か	い者													
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	団体の諸	事業が安定的	かつ継続	的に実施	できる	るよう支援し、	身体	障害者の生	上活向上を	図ります	0			
PL		たいのか)	, , , , , ,		事業が安定的			できる	るよう支援し、	身体	障害者の生	上活向上を	図ります	0			
AN					ヽますか。(主ケ	なもの5~	つまで)										
N		① 障がい者															
	事業の)		・スポーツ	講習会・健康セ	ミナーの	開催										
	活動内容	③ ボランティ															
		④ 障がい者	会研修会	の開催													
		5	-	= 1 fr/s = 1 ==		T 124	7.1.		A 7= -		-	A T		A 7-			
		指標名	<u> </u>	計算式又	は指標設定理	里由 単		1m	令和 3	年月	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	令和 4	年度	令和	5 左		最終目標
	数値目標	身体障がい者会会	会員数)		標績			129		120				
	(事業の目的 及び活動内							標標			129		120				
	容の達成度							績									
	を測る指標)							標									
								績									
	予算費目	会 計					款				項			目			
			令	`和 3	年度決:	算一令		4	年度決算	令		5 年.	度予算		•	備考	
		国庫支出	金		:	千円			千F	7			千円				
		県 支 出	金		:	千円			千日	7			千円				
	直接事業費	地 方	債		:	千円			千F	_			千円				
D	但该于未具	その他特定則				千円			千日				千円				
0		一般財	源		652				千F				千円				
		計(A)			652				652 ∓F			(552 千円				
	L /4	正職員工数:		004 人	24	千円 0.0	004 人		24 千F	∄ 0.	.004 人		24 千円				
	人件費(B)	会計年度任用職員		, ,									0				
	۸ / ۱ + ۱	会計年度任用職員工数	牧·経費	人		千円	人		0 ∓F		人		0 千円				
	■ 全体事業	業費(A+B)			676	十円			676 千F	4		(676 千円				

						ック項目					一次	マ評価			-次評価の				二次	評価	
		1.						確保できる等 響は大きくな		0	少ない	•	大きい	図るため	ある方の 、市として	も関係		0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政制	犬況の中	、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	められない。	0	ない	•	ある	育成支援	が必要で	す。		0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の「	句上のため	かに、耳	現在の手段	と、方	法等の改善の余	戻地がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーヒ				隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するが	ために、	事業内容	『が必	ずしも適切とは	はいえない。	0	いえなし	•	いえる	関係団体がい者福	の育成支 祉の向上			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化な	ど、施	策への貢	献度が	ぎょく高いと	まいえない 。	0	いえなし	•	いえる	事業が展				0	いえない	•	いえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策の	中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0	する	•	しない	す。				0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	をしても	成果の	向上が期	待で	きない。		0	できなし	•	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進	捗状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標によ	上べて針	らっている	障がい者に向けて	の自立と			0	目標に比	べて劣・	っている
	達世	2.	目標設定に対	対して成:	果があ	まり上が	うて	いないと思う	0	0	あまり上	がってし	ない	達成して		C 03 9 4	1131.14	0	あまり上が	っていた	はい
	成度	3.	目標設定に対	対して概念	ね目標	を達成し	てい	ると思う。		0	概ね達用	ずしてい	る					0	概ね達成	している	3
		4.	目標設定に対	対して十分	分に目	標を達成	えして	いると思う。		•	十分達	成してい	る					•	十分達成	している	3
		1.	効果に比べて	(コスト:	が高い	,				0	高い	•	適当	障がいの	ある方の 事業であ ^し			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	本のノウ	ハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できない	実施が必		/ \ \ \mathref{m}_{12} \ \mathref{n}_{1} \	,LO C 07	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	≿成果の	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	2がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の	変更な	どにより	コス	ト削減の余地	ヹがある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
							次評			•						次評值	-				
	評值	五点	必要性	有效		達成原	芰	効率性 4	総合評	価	ļ	<mark>込要性</mark> 4	<u> </u>	<mark>有効性</mark> 4	達成E 4		効率性	<u> </u>	総	合評	価
	今後	後の)現状			 方法改善	A ○ 民間委記	£等	0		<u></u> :•充実	● 現状		0 7	 方法改き	ŧ		<u>A</u>]委託	.等
A		9性	○ 縮小			期設定		廃止/休止		<u> </u>	Ö			統合/終			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
C			4日の古松川	レボルノー	~+ \	会後江 の	江州	ルナ図スナーム	- -+ 並出の	ᆠᄩ	Tr.		二次	(評価での	指摘事項	頁及び	一次評	価との	の相違点	į	
T-0:	当課	ᄪ							ににも、新規の 事業に取り組む) [*] 団体			っとともに、そ		を継続	的、効果	的に	実施し、『	章がい	者の社
N		[行		継続に加	巾え、事	3務局であ	る社		るとともに、定っ と連携し、新た			多加等·	福祉の均	曽進を進め	ます。						
		会 事項																			

	No. 16 —	8 基本事務事	業名市	Fをつなぐ	育成会育成事	業事務	事業名	市手をつな	ぐ育成	会育成	事業	公的関与	9 シ	ート作成	日	令和5年	6月23日
	部局名	侹	康福祉		課名		福祉課	主剂	關果長名	名	笠扌	‡ 孝彦	シー	-ト作成者	首名		東裕子
	事業区分	○ 1 ソフト			3 経常的事務			i助金∙負担		<u> </u>	業温	営方法		営			è部委託
	争未区力	○ 2 ハード	• • • •		4 施設の維持	管理	○ 6 Þ	部管理事)他 ^丁	木廷	苦刀丛		·部委託		√ 4 ₹	甫助等
		基本構想(政						実施						の開始・			
	総合計画	基本計画(施						● 1 該当			·和	年	<mark>~</mark> 令	和	年	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(2)	啓発·交	流活動等の推	進		○ 2 非訓	送当	村	艮拠法	令等					
		対象(誰を、 何を)	知的障か	い者のあ	る人とその家族	、および	その活動	に賛同する。	(
	事業の 対象・目的	目的(どうい う状態にし	最終的	団体の諸	事業が安定的が	いつ継続	的に実施	できるよう支	援し、矢	旧的障がし	いのあ	る人とその	の家族の	生活向上	を図り	ます。	
PL		たいのか)			事業が安定的が			できるよう支	援し、矢	旧的障がし	いのあ	る人とその	の家族の	生活向上	を図り	ます。	
AN					ゝ ますか。(主な	はもの5つ	oまで)										
N		① 交流会及															
	事業の	② 福祉情報															
	活動内容	③ 関係機関)啓発												
		4 社会参加															
		⑤ 身体障害				1 1 332	7.1.	I A.	-			T	<i>_</i>	A 1-			
		指標名	5	【計算式】	スは指標設定理	曲 単			3	年度	Î	今和 4	年度	令和	5 4	中度	最終目標
	数値目標 (事業の目的	手をつなぐ育成会	課員数			人		標 績		78			71				
	及び活動内							標									
	容の達成度							績									
	を測る指標)							標									
	- 45 Th -							績							_		
	予算費目	会 計	1 ^	T-			款		_ <i>\</i>	項		<u> </u>	<i>h</i>	目		144 42	
		同庄士山		î和 (3 年度決算		和 "	4 年度		令和	5	4月	度予算			備考	
		国庫支出県支出	金			f円 fm			千円				千円				
		<u>宗 又 山</u> 地 方				F円 F円			千円 千円				千円 千円				
D	直接事業費	その他特定則				門			千円				千円				
O		一般財	源		224 🛪			22	4 千円			2	24 千円				
		計(A)	<i>////</i>		224 7				4 千円				24 千円				
		正職員工数:	経費 0.	004 人	24 =		004 人		4 千円	0.004	人		24 千円				
	人件費(B)	会計年度任用職員				310					,,						
		会計年度任用職員工数	女·経費	人	0 1	f円	人) 千円		人		0 千円				
	人 /上市:	業費(A+B)			248 =	r m	-	24	3 千円			2	48 千円				

				Ŧ	エック項					— 2	欠評価	i	_	−次評価	の説	明		二次	評価	
		1.					が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	•	大きい		バい者の係 る組織で			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	犬況の中、 炎	7年度以降	実施で	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある		り障がい者 寄与してい			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のために	、現在の	₣段、フ	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない		おうして	ن ته ۱	0	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート			近隣目	自治体と比較し	ンてニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するため	に、事業に	内容が必	ひずしも適切とい	はいえない。	0	いえなし	,\ (いえる)ある子ど まし、知的			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ンネリ化など、	施策への	貢献度	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	\ O	いえる	の増進を	図ってい	る団体	本を育成	0	いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中で	:類似・]	複した	た事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	■支援する	ことは有	効です	Γ.	0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続	をしても成界	の向上が	期待	できない。		0	できなし	·\ •	できる					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗な	は況が劣っ	ている	ると思う。		0	目標に	比べて	劣っている		して有効 きるととも			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果だ	「あまり」	がって	ていないと思う	5 。	0	あまり上	がってい	いない	ある子ど	もを持つ	呆護者		0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	標を達成	えしてし	ハると思う。		0	概ね達	成してに	いる	ながりが	できている	ます。		0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	対して十分に	目標を通	感成し つ	ていると思う。		•	十分達	成して	いる					•	十分達成	してい	3
		1.	効果に比べて	てコストが高	引い。				0	高い	•	適当		がい者とそ がい福祉			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主仰	本のノウハウ	つや新たな	制度	を活用できる。		0	できる	•	できない	様々な活	5動を行っ	ている	る団体と	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員の	と成果の関係	で、実施	手段等	等を見直す余均	也がある。	•	ある	0	ない	して、幼 ^ュ す。	率的な運	引かさ	れていま	•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変更	などによ	りコス	スト削減の余均	也がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
			N. TT. Lil			一次評					\ I				次評	••		4.00	^	
	評值	西点	必要性	有効性		找度 4	効率性 3	総合評			<mark>必要性 4</mark>	生	<mark>有効性</mark> 4	達成		<u> </u>	生	総	合評 A	曲
	今後	を の		•		10	1 . 1 -1 -24	○ 民間委	托等	0		 · 充実			10	方法改	善		了 引委計	
A	方向	句性	○ 縮小	○ 統合/	終期設定		廃止/休止				縮小		統合/終		0	廃止/休				
C			知的階がいん	カある ヱ ども;	を持つ保証	きおがる	連携し、多様な	活動を行うこと	により			二次	ζ評価での)指摘事	項及(ゾー次評	価と	の相違点	į	
T-0		面の !題					三貢献しています			てい 団(動を支援	爰し、福祉の	の増進を図	図る観	点から、乳	新たな	事業展別	まなど	を検討し
N		革案 実行 ·画	定着している 会員の新規力	既存事業の	継続に加 <i>え</i> ます。	え、事 務	務局である社会	福祉協議会と	連携し	ま <u>す</u> 、	ナ。 									
		員会 事項																		

	No. 16 —	9 基本事務事業	常 心身	障害者扶養	養共済掛金助成	事業	事務事業	きょう とく	障害者扶殖	養共済!	掛金助成			ート作成日	令和5年	6月23日
	部局名	健原	隶福祉部	部	課名	;	社会福祉	L課	主務語	果長名	1	笠扌	- 孝彦 シー	ート作成者名		本 佳代
	事業区分	● 1 ソフト事			3 経常的事務				金·負担金		- 4 :	学:雷·	- T \ T	営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード事			4 施設の維持	寺管理		6 内部	管理事務		他	木厓	2 -	−部委託		甫助等
		基本構想(政策			やかな阿波				実施計	·画				┊の開始・終う	7	
	総合計画	基本計画(施策			支援の充実			<u> </u>	1 該当		平			ì和 年	□ 期間	間設定なし
		主要施策	(3)	生活支援	その充実				2 非該	<u> </u>	根	拠法	令等			
		対象(誰を、 何を)	徳島県心	身障害者	扶養共済制度	に加え	入する市内	内在住の	心身障害	者の保	護者					
	事業の 対象・目的	目的(どうい り)	最終的	心身障害	者扶養共済に	加入す	する保護者	当の経済	的負担を	経減し	、心身障	害者	及び保護者の安定	した生活と福	性の向上を	と図ります。
PL		たいのか) 4	今年度													
AN		具体的にどの														
N)	ł扶養共	斉制度にお	おける年間掛金	の2分	の1を加え	入者(心:	身障害者の	保護者	者)から申	請に。	より助成します。(当	鉻話年度全額糾	付している	らことが前提)
	事業の	2														
	活動内容	3														
		4														
		<u>5</u>		- 1 h		m I I	337.71		A ==		<u> </u>	^		1 A T-	<u>_</u>	
		指標名			ては指標設定理		単位		1 分和	3 4	牛塻	Ť	命和 4 年度	令和 5	牛度	最終目標
	数値目標			指標にな 定できまっ	じめないため、	設	H	目標								
	(事業の目的			たでさま	EN.			実績								
	及び活動内 容の達成度						H	目標 実績								
	を測る指標)															
							H									
	予算費目	会計		— 般	会計		款	3 民	 ‡ 費		項	1	社会福祉費	目 2	障害者	福祉 費
	,,,,,,,,	_ "	一个			算	令和	4	<u>年度</u> 決	·算	令和	. 5			備考	
		国庫支出				千円	15 111		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	千円			千円		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
			金			千円				千円			千円	1		
	古 + 立 古 类 弗	地方	債			千円				千円			千円	1		
D	直接事業費	その他特定財	源			千円				千円			千円			
0		一 般 財	源		51	千円			51	千円			68 千円	1		
		計(A)			51	千円			51	千円			68 千円			
		正職員工数·経	費 0.2	290 人	1,766	千円	0.290	人	1,752	千円	0.290	人	1,757 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員職	^{銭種}													
		会計年度任用職員工数·	経費	人		千円		人		千円		人	0 千円			
	全体事	業費(A+B)			1,817	千円			1,803	千円			1,825 千円			

						ック項目					一次	評価		_	次評価0)説明			二次	評価	5
		1.						確保できる等 響は大きくな		〇 少	ない	大き	()	掛金の一 心身障害				0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、	次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ない いっぱい。	○ な	い	ある		る保護者し、心身障				0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の「	句上のため	に、明	見在の手段	大方	法等の改善の余	戻地がある。	あ	る	ない		定した生活				0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーヒ				隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	O 11	3	いな	را.	ことができ 要です。	そるため、ī	市の関与	は必	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するた	めに、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	O 1	えない	● いえ	る	心身障害 いる保護:				0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化な	ど、施	策への貢献	献度が	ぎしく高いと	まいえない 。	の い	えない	いえ	る	き後の心	身障害者	の経済的	生	0	いえない	•	いえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策のロ	中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	す	る	しな	い	活の安定 することか			美肔	0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	をしても原	成果の	向上が期	待で	きない。		○ で	きない	● でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進掘	步状況	が劣って	いる	と思う。		○ 目	標に比	べて劣ってし	る	助成を受 者に対し				0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成身	₹があ	まり上が	って	いないと思う	0	<u></u> ත්	まり上が	っていない		ます。	四年(こり))	K ~ 11 J		0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね	a目標	を達成し	てい	ると思う。		〇 概	ね達成	している						0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に対	対して十分	かに目	標を達成	して	いると思う。		+	分達成	している						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストだ	が高い	0				〇高	i۱۱	● 適当	á	助成対象				0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウィ	ヽウや	新たな制	度を	活用できる。		つで	きる	● でき	ない	正に実施	できており	、事業見	直直し	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	上成果の関	関係で	、実施手	段等	を見直す余地	oがある。	O あ	3	● ない		の余地は	ないと考え	とられます	手 。	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変	変更な	どにより	コス	ト削減の余地	ヹゕ゙゙ある。	あ	る	● ない	1					0	ある	•	ない
						<u> </u>	次評	価				•			=:	欠評価					
	評値	西点	必要性	有効	性	達成原	五	効率性	総合評	価	Ú	必要性	7	与効性	達成原	王 3	効率性	生	総	合評	価
	△ 2	を の	4 ○ 拡大·充	4 (1)	<u>_</u> 現状	4 纸 t t = 1	$\overline{}$	4 方法改善	A ○ 民間委記	1生	0	4 拡大∙充	<u> </u>	4 ● 現状	4 ·維性			¢.		A 『委』	1生
		句性	○ 縮小			胡設定		廃止/休止	〇 民间安市	L++		縮小		統合/終			<u> </u>		U KIE	リ女巾	L 11
A	,,,		0								Ĭ			評価での					の相違点	į	
TIO	当課	即り		をしていた				づく掛金の減客 ていない掛金						安心して生							
N	と3 計	E行 ·画		いるか分	からなり	いことによ	こり、「	通知されていま 届出をしないケ ます。			- -	୰୲୰୶	יט פי	女心して生	ᄗᄱᇄᅑᄼ	るよう、	则及0	ノ戸大	4で凶りま	90	
		員会 事項																			

	No. 16 —	10 基本事務事業	業名 老人	、クラブ連ィ	合会活動支援事	業事務	事業名	老人クラブ連行	合会活重	動支援事業	公的関与	9 シ	ート作成日	令和5年	6月16日
	部局名	健.	康福祉部	邹	課名		福祉課	主務認			井 孝彦	シー	-ト作成者名		多賀子
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務			助金·負担金			営方法		営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理	〇 6 内	部管理事務			百刀丛		·部委託		助等
		基本構想(政策						実施計	·画				の開始・終		
	総合計画	基本計画(施			援の充実			● 1 該当		令和	年	<mark>~</mark> 令	和 <mark>年</mark>	三	設定なし
		主要施策	(3)	生きがい	づくり・社会参	加の促進		○ 2 非該当	É	根拠	法令等				
		対象(誰を、 何を)	老人クラ	ブ会員											
	事業の 対象・目的	目的(どうい)	最終的	老人クラ	ブ連合会の自主	的運営を	推進して	いきます。							
PL		: "	今年度												
AN					ヽますか。(主な										
N					ラブの活動を支				0						
	事業の	_			業を実施します。										
	活動内容)	人クラブ	車合会助 原	戍事業を実施し、	県老連主	催事業	へ参加します。							
		4													
		<u>5</u>		=1 <i>b</i> ==±=	7 (<u>1 46</u> 1 4 5 1 1 4 5 1 1 4 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	L	1 A 10	0 F	· #	人 fn 4	<i>F</i> & [∆ 1⊓ −	- - -	
		指標名		计异式人	ては指標設定理	由単位	1 目		3 年		令和 4	<u>年度</u> 2000	令和 5		最終目標
	数値目標	会員数					実			2000 948		889		2000	
	(事業の目的 及び活動内						目			340		009			
	容の達成度	クラブ数					実					28			
	を測る指標)						目					20			
							実								
	予算費目	会計		一般	会計			民生費		項 1	老人福祉	費	目 1	老人福祉	止総務費
			令	和(3 年度決算	章 令利	Π 4	年度決	:算 1	令和	5 年原	度予算		備考	
		国庫支出				戶円			千円			千円			
			金		1,977 =	f円		2,369			2,4	.26 千円			
	直接事業費	地 方	債			戶円			千円			千円			
D	正汉于水关	その他特定財				f円			千円			千円			
0			源			f円		2,373				64 千円			
		計(A) 工職是工業 42	7 曲 0 4	210	1,977		10 1	4,742		0.010		90 千円			
		正職員工数·紹 会計年度任用職員耶		010 人	61 =	F円 0.01	10 人	60	千円 (0.010 人		<mark>61</mark> 千円			
	人件費(B)	云引牛皮牡州喊貝場	100 个里												
		会計年度任用職員工数·	- 経費	人	0 =	<u>.</u> B	人	0	千円	人		0 千円			

				•	ロック項目				一次評価			次評価0			二次	評価	
		1.				が確保できる等 影響は大きくな		少な	い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	てきい	高齢者の	自主的組	を基盤とする 織です。高齢	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	犬況の中、次4	丰度以降実施	する緊急性が認	ぬられない。	○ ない	● あ	iる			いを持ち、安 う閉じこもり	0	ない	•	ある
	女性	3.	住民満足度の向	向上のために、	現在の手段、	方法等の改善の名	余地がある。	ある	● ta	il)			の重要な役割	0	ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		自治体と比較し	, てニーズを	เงื	● 1,	ない	を担ってし	ヽ ます。		0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を写	実現するために	、事業内容が	必ずしも適切とは	はいえない 。	○ いえ	ない ② い	える			健康・友愛・奉動されていま	0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、	施策への貢献原	度が著しく高いと	はいえない。	○ いえ	ない 💿 い	える			孤立」が大きな り、老人クラブ	0	いえない	•	いえる
CH	性	3.	市が実施する	る施策の中で	類似・重複し	た事務事業が存	存在する。	○ する	⊙ ∪	ない	ではひとり	暮らし高齢	それで 者を支えるた んでいます。	0	する	•	しない
E		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期待	できない。		○ でき	ない 🔘 で	きる	(0) 及发心的	別で4X グルロ/	000,49°	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	付して進捗状況	兄が劣ってい	ると思う。		○ 目標	に比べて劣って	ている			ラブ会長・女 ごめ、若手委	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	付して成果がる	あまり上がっ	ていないと思う	j _o	○ あま!)上がっていな!	L)	員会研修	会、友愛語	方問員研修会	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね目れ	票を達成して	いると思う。		〇 概ね	達成している		など様々が		を開催し、ス います。	0	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達成し	ていると思う。		● +分	達成している					•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが高い	,۱۰			○高い	· © i	鱼当			で、社会福祉協	0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	*のノウハウ	や新たな制度	を活用できる。		○ でき	გ <u></u> ⊙ დ	きない	り、阿波市	においても	、平成27年度 が事務局を行っ	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係	で、実施手段	等を見直す余地	也がある。	<u></u>	● ta	il V	ています。	なお、地区	パータックをリッ 老・単位クラブ 様公民館が	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	り方法の変更7	などによりコ	スト削減の余地	也がある。	<u></u>	● ta	il)	行っていま		「依公氏語が	0	ある	•	ない
					一次	評価			·			=;	欠評価				
	評价	五点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	必要性	7	有効性	達成原		生	総	合評	価
	△☆	後の	4 ○ 拡大·充	<u>4</u> 注 ⑥ 現 [;]	│ 4 :維持	_ 4 〕方法改善	A ○ 民間委i	4笙		<u> </u> 充宝	4 ┃ ● 現状	4	 4 _ ○ 方法改善	ŧ		_ <u>A</u>]委記	华
		対性	○ 縮小)廃止/休止	〇 民间安日	L#	○ 縮小		統合/終		〇 廃止/休		O KIF	J X II	L 1
A	,,,	<u>, </u>				でおり、会員数か	・ ク減小傾向	コニカス	O 1711 3				及び一次評		の相違点	į	
TIO	当課		ため、新規会	員加入の促進 に配慮しなが	、老人会育成	でのり、云真数が の支援が必要で 参加を呼びかけた	す。新型コロブ	トウイル .も更に重		化社会	が進む中、	高齢者が	生きがいを持	ち、信	よみ慣れた	-地垣	
N	と身 計	画		人クラブの自主 は社会福祉協		っていきます。ま <i>†</i> っています。	こ、平成27年原		業への更な							, LJ /%	ハロエヂ
		€会 事項															

No. 16 一 11 基本事務事業名 吉野地域福祉センター管理委託事業 事務事業名 吉野地域福祉センター管理委託事業 公的関与 9	ンート作成日 令和5年6月15日
部局名 健康福祉部 課名 社会福祉課 主務課長名 笠井 孝彦 ままる はままます。	一ト作成者名 原田 多賀子
事業区分 0 1 ソフト事業 0 3 経常的事務事業 0 5 補助金・負担金・支援 事業運営方法 □ 3	直営 ② 3 全部委託
○ 2 ハート事業 ● 4 施設の維持官理 ○ 6 内部官理事務・その他 ○ 2	一部委託 📗 4 補助等
	業の開始・終了
	令和 年 □ 期間設定なし
主要施策 (2)高齢者サービス提供体制の充実 ○ 2 非該当 根拠法令等	
対象(誰を、 吉野地域福祉センターを利用する住民の方が対象です。	
事業の 対象・目的 う状態にし う状態にし	
たいのか)	止サービス等を提供する社会福祉協議
A 具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで) ① 吉野地域福祉センターの維持管理のため、社会福祉協議会に管理業務を委託しています。	
① 自力での場面にとう の権所 音上のためては五面に励成五十十日上来がと文化のでものが。	
事業の②施設の修繕が必要なときは、協議して修繕しています。	
活動内容 ③	
指標名 計算式又は指標設定理由 単位	令和 5 年度 最終目標
数値目標 (事業の目的 施設の利用人数	2
及び活動内	
容の達成度	
を測る指標) 目標 目標	
実績	
予算費目 会 計	目 1 老人福祉総務費
令和 3 年度決算 令和 4 年度決算 令和 5 年度予算	備考
国庫支出金 千円	
県支出金 FP FP FP FP	
直接事業費 は 方 債	
D 千円	
12 71 44	
計(A) 3,620 千円 3,620 千円 3,720 千円	
正職員工数·経費 0.004 人 24 千円 0.004 人 24 千円 0.004 人 24 千円 0.004 人	1

						ク項目						_	-次評(西		_	-次評価(の説明	月		二次	評価	Б
		1.						、確保できる等 と響は大きくな		也の実施	0	少なし	,	大き	きい	スを提供	!度から考 している	業所	が、施	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	状況の中、	次年月	度以降実	施す	る緊急性が認	図めら	られない。	0	ない	•	ある	5	設管理を	·行うことは われます。	t、必:	要性が	0	ない	0	ある
	性	3.	住民満足度の回	句上のために	こ、現	在の手段	、方	法等の改善の無	余地な	がある。	0	ある	•	なし	۸.	同いと心	171659)		0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				:隣自	治体と比較し	ノて <i>=</i>	ニーズを	0	いる	•	いた	şl\					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を調	実現するため	かに、	事業内容	が必	ずしも適切とに	はいえ	えない。	0	いえな	:l\ 🔘	いえ	える		協議会に ことで、地			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など	、施领	策への貢献	献度な	が著しく高いと	はい	えない。	0	いえな	い 💿	いえ	える	上が図ら	れることに			0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中	で類値	似・重複	した	事務事業が存	存在す	ける。	0	する	•	しな	٦L١	れます。				0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成	果の「	向上が期	待で	きない。			0	できな	ı، 🗨	でき	€ る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗	状況が	が劣って	いる	と思う。			0	目標に	比べて	劣ってし	いる		協議会が で、目標を			0	目標に比	べて劣	うっている
	達	2.	目標設定に対	けして成果	がある	まり上が	って	いないと思う	5 。		0	あまり_	上がって	いない		と思われ	ます。利用	月 者数	につい	0	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	付して概ね	目標で	を達成し	てじ	いると思う。			0	概ね遺	を成して	いる			!コロナウ <i>-</i> じながら[•	概ね達成	してい	る
	^	4.	目標設定に対	けして十分	に目札	標を達成	して	いると思う。			0	十分通	達成して	いる		ます。		J 1920	0,7,		十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコストが	高い。	.					0	高い	•	適	当		高齢者・障: 畐祉サービ			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	*のノウハ	ウや練	新たな制	度を	活用できる。			0	できる	•	でき	きない	る社会福祉	业協議会に ことは効率	、管理	2業務を	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	成果の関	係で、	、実施手	段等	₹を見直す余 ^地	也がま	5 る。	0	ある	•	なし	,	れます。旅	設の老朽	化に付	う維持管	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変	更な。	どにより	コス	く ト削減の余地	也がま	ある 。	0	ある	•	なし	۸,	理質の増	加が見込ま	れまり	9 。	0	ある	•	ない
						<u>—</u> ;	次評	価								•	Ξ	次評	価				
	評化	甲	必要性	有効性	Ė	達成度	ρΨΓ	効率性		総合評	価		必要		1	有効性	達成	芰	効率	生	総	合評	· 価
	△ ½	を の	4 ○ 拡大·充	4 :宝 🍙 :	現状	3 維基	0	<u> 4 </u> 方法改善	0	A 民間委託	千生	1		大・弁	j 主	4 ┃ <mark>●</mark> 現∜	<mark> 3</mark> ⊬維培		<u>4</u> 方法改善	É		A 表	1年
		句性	○ 縮小			胡設定	$\frac{\circ}{\circ}$	<u>/// </u>	Н	以问安日	<u></u>	_				統合/終			<u>万么设。</u> 廃止/休			134	
C			0	10 1,751	, ,, ,, ,,	,,,,,,,,		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					<u> </u>			評価での					の相違点	į	
ACTION			吉野地域福也 経費の増加か			・設備等に	こ老材	朽化が進んでし	いるた	-め、今後キ	維持的	扩		現状だ	から管	理体制を	見ながら、	管理	の適正化	、管理	理料の見	直した	などを図り
Ň	년 計	革案 実行 画	計画的に施設 で事業を行い		図り、 3	安心して ⁻	サー	ビス提供が実施	施でき	きるよう、弱	見状維	掛	ます 。										
		員会 i事項																					

	No. 16 —	12 基本事務事	業名 高齢	者生活支	援ハウス入所事	業事務	事業名	高齢	者生活支	援ハウ	7ス入所事	業	公的関与 3 シ	/一ト作成日	令和5年	6月5日
	部局名	健	康福祉	邹	課名	社会	锋福祉課		主務認	果長名	ı	笠井		ート作成者名		達 亜子
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務				€∙負担金			学 雷克		直営		è部委託
	争未应力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理	O 6 P	勺部管	管理事務		他	大连	✓ 2 -	-部委託		甫助等
		基本構想(政							実施計	·画				美の開始・終		
	総合計画	基本計画(施			援の充実				1 該当		令			3和 年	三 図期間	設定なし
		主要施策			活の確保				2 非該当				:令等			
		対象(誰を、(何を)	60歳以_ すること!	とのひとり こ不安のあ	暮らしの者、夫娘 らる者が必要に応	帚のみの なじて利用	世帯に属	する とがで	者及び家! きます。	族によ	る援助を	受ける	ることが困難な者 [・]	であって、高歯	計者のためる	独立して生活
	事業の 対象・目的	目的(どうい)	最終的	高齢者が	安心して健康で	明るい生	∃活を送∤	いるよ	うに支援し	ハもっ	て高齢者	で福	祉を図ることを目	的とします。		
PL		: " ·· — . :	今年度													
AN					ヽ ますか。(主な											
N		<u> </u>						さない	・者で、短	期の入	、所を希望	する	者について入所を	促します。		
	事業の				決定通知書を発											
	活動内容	0	活支援ハ	ウス利用	に際して、費用領	数収額の	周知と徴	収を	行います。							
		4														
		5		- 1 12			, ,		A T-					\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		
		指標名	1	計算式入	スは指標設定理	由単		1 4775	令和	3 4		Ĩ	和 4 年度	令和 5		最終目標
	数値目標	入居状況		全5室		室	Z	標 <u> </u> 積			5 0		5		5	
	(事業の目的 及び活動内							·順 標			U					
	容の達成度							1示 積								
	を測る指標)							·順 標								
								績								
	予算費目	会計		一般	会計			民生	費		項	2	老人福祉費	目 1	老人福祉	业総務費
			令	·和 3	3 年度決算	章 令	和	4	年度決	:算	令和	5	年度予算		備考	
		国庫支出	金		7	f円				千円			千円			
		県 支 出	金		1	戶円				千円			千円			
	直接事業費	地方	債			f円				千円			千円			
D	巨汉于不良	その他特定財				戶円				千円			千円			
0		一般財	源		2,000 =				2,000				2,108 千円			
		計(A)	v # 6	004	2,000 =				2,000		0.001		2,108 千円			
		正職員工数・組		004 人	24 =	F円 0.0	004 人		24	千円	0.004	人	24 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員			0 -					- m		, ,	0			
	全 从重:	^{会計年度任用職員工数} 業費(A+B)	· 栓貨	人	0 1 2,024 1		人		2,024	千円		人	0 千円 2,132 千円			
	■ 土件事業	不良 (ヘーロ)			2,024 7				2,024				2,132 十円	1		

					チェ	ック項目					-	一次評	価		_	-次評価(の説	明		二次	評価	i
		1.						「確保できる等 ジ響は大きくな		0	少な	い ()	きい	め、当事]け住居の 業の存続	は不可		0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	伏況の中、	次年	度以降実	施す	「る緊急性が認	思められない。	0	ない	(う あ	る	り、必要性	生は高いる	です。		0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のため	に、羽	見在の手段	と、方	法等の改善の無	余地がある。	0	ある	(な	il١					0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ(上回るサー				隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	() い	ない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現するた	めに、	事業内容	が必	ずしも適切とに	まいえない 。	0	いえた	ない () い	える		る援助を!			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマ	ンネリ化なと	ご、施	策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえた	ない(りい	える	とに不安	のある高	齢者な	が、施設		いえない	•	いえる
C	性	3.	市が実施する	る施策の中	で類	似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	() l	ない		f困難な場 ら、有効性			0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続	をしても成	果の	向上が期	待で	ごきない 。		0	できた	ない (で	きる	です。				0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に	対して進捗	状況	が劣って	いる	と思う。		0	目標	に比べて	て劣って	ている	申請者が	が少ないも 者が利用	のの、	. 必要と S. トラ . 5	0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に	対して成果	があ	まり上が	うて	いないと思う	; .	0	あまり)上がっ ⁻	ていなし	۸		しています		JA 7. 0	•	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に	対して概ね	目標	を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね	達成して	ている		1				0	概ね達成	してい	გ
		4.	目標設定に	対して十分	に目	標を達成	して	こいると思う。		0	十分	達成し	ている						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコストが	高い	0				0	高い	(通	当		iとの合同 i率化を図			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主	本のノウハ	ウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	3 () で	きない	す がありが) + 16 2 12	1500	· ~ y 。	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員	と成果の関	係で	、実施手	段等	手を見直す余地	也がある。	•	ある		つ な	il١					•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	約方法の変	更な	どにより	コス	く ト削減の余地	也がある。	0	ある	(りな	il١					0	ある	•	ない
							次評	• •									次評					
	評値	西点	必要性	有効性	ŧ	達成原	艾	効率性	総合評	[価			要性 4	7	有効性	達成		効率	生	総	合評	価
	今後	を の		<u>4</u>	<u>現</u> 状	<u>2</u> :維持		<u>] 3 </u> 方法改善	○ 民間委	托等			•	<u>_</u> 充実		<u>2</u> 比維持	П	<u>3</u> 方法改善	Ę		B l委i	 £等
A		句性	○ 縮小			期設定		廃止/休止	- VIETZI		_		計小	ÎÒ	統合/終			廃止/休				
C				•										二次	評価での	指摘事項	頁及で	ゾー次評	価と	の相違点	į	
TIO	当課	面の 題	高齢者福祉(今後、希望者	こ必要な事 6の推移に。	業でも より、3	あり、引き 実施方法	続き 等の	事業を継続する 見直しを検討す	る必要がありま する必要があり	す。 lます					三必要な事		、施彭	との利用な	犬況を	:勘案し負	担金	等の見
N			高齢者福祉[句上のため	、適均	刃な事務に	ニ努め	かます。				直しを	検討し <u></u>	しながら	ら継続しま	す。						
		員会 i事項																				

	No. 16 —	13 基本事務事業	業名 市福祉	大会に於ける	金婚・ダイヤモンド婚初	兄事業 三	事務事業:	名 市福祉	止大会に於ける会	金婚・ダイ	イヤモンド婚祝	事業	公的関与	9	シー	卜作成日	令和	5年6月16日
	部局名	健.	康福祉部		課名		t会福祉	課	主務認	果長名	1	笠井	・孝彦		シート	作成者名		京田 多賀子
	事業区分	○ 1 ソフト事	業		3 経常的事				金·負担金		- + :	李.温点	営方法		1 直営			3 全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維	持管理	0 6	内部	管理事務·	その	他	木连音	57174		2 一部			4 補助等
		基本構想(政策			やかな阿波				実施計	画				1		開始•終		
	総合計画	基本計画(施第			援の充実			①	1 該当		平		17 年	~	令和	年		期間設定なし
		主要施策	(2)	高齢者が	トービス提供イ	体制の	充実	0	2 非該当	á	根	拠法	令等					
		対象(誰を、 何を)	金婚・ダイ		婚を迎えられた													
	事業の 対象・目的	目的(どうい)	最終的	阿波市社 寿を祝福		開催要	項により	開催す	る席におい	て、金	ŝ婚∙ダイ·	ヤモン	ド婚を迫]えられ	れたごき	夫婦を招待	し、長年	手の結婚生活と長
PL			今年度															
AN		具体的にどの																
N		,			て、申請のあっ			シド婚	の該当者を	を招待	し祝詞及	び記:	念品を送	りお礼	ひいしま	す。		
	事業の	② 阿波市社会	会福祉協	議会へ事	業の委託をし	ています	t 。											
	活動内容	3																
		4																
		5											_	, .				
		指標名		計算式又	ては指標設定	理由	単位		令和	3 -	年度	令	·和 4	年度		令和 5	年度	最終目標
	数値目標	金婚					組	目標			7.4				74			
	(事業の目的							実績			71				71			
	及び活動内 容の達成度	ダイヤモンド婚					組	目標 実績			44				21			
	を測る指標)							<u>夫棋</u> 目標			44				21			
								実績										
	予算費目	会 計		— 般	会計			3 民生	<u> </u>		項	2 =	老人福祉	⊩費		目福祉	H	
	, ,, ,, ,,	Д Н1	一		3 年度決	算	令和	4	年度決	算	令和	5		度予:	算	_ н н .	備	考
		国庫支出			,	千円				千円	12 111		·			和2年度		<u>-</u> 補助事業だった
			金			千円				千円					_{千円} が	、令和34	F度か!	ら委託事業へ変
		地 方	債			千円				千円					_{千円} 更	となってし	います。	
D	直接事業費	その他特定財	源			千円				千円					千円			
0			源		1,037	千円			964	千円			1,2	224	千円			
		計(A)			1,037				964	千円			1,	224	千円			
		正職員工数·紹		010 人	61	千円	0.010 丿	\ <u> </u>	60	千円	0.010	人		61	千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員即	職種															
		A 51 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	AT alls		_	~ m	1		0	~ m				0	~ m l			
		^{会計年度任用職員工数・} 業費(A+B)	·栓質	人	1,098	千円		\	1,024	千円		人		0 285				

					ニック項目				一 岁	欠評価		_	-次評価の)説明		二次	(評価	
		1.				tが確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	(大きい	会におい	協議会主 て、長年 <i>0</i>)結婚生活	の 🗋	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政物	犬況の中、次年	丰度以降実施	画する緊急性が記	忍められない。	0	ない		ある		らい、住民 没ける事業			ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の回	向上のために、	現在の手段、	方法等の改善の	余地がある。	0	ある	•	ない		さいる事業 要性は高し			ある	•	ない
		4.		D低下がみられ ごスとなってし		4自治体と比較し	ンてニーズを	0	いる	•	いない					いる	•	いない
		1.	施策の目的を調	実現するために	、事業内容が	「必ずしも適切と」	はいえない。	0	いえない	•	いえる)生きがい? 建康増進・			いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ノネリ化など、 <u></u>	施策への貢献	度が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	•	いえる	上に繋が	る事業で			いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で舞	類似・重複し	た事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	す。				する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期待	手できない。		0	できない	•	できる				(できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣ってし	いると思う。		0	目標に比	こべて劣っ	ている		協議会主			目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果があ	あまり上がっ	ていないと思う	5 。	0	あまり上が	がっていた	۲L۱	当者を招	待し、祝い	状と記念は	品(あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目標	票を達成して	いると思う。		0	概ね達成	大している	,)	を賜り祝 ^っ います。	福し長年の	労をねぎ		概ね達成	してい	3
	^	4.	目標設定に対	対して十分に目	目標を達成し	ていると思う。		•	十分達成	戊している	5				•	十分達成	してい	გ
		1.	効果に比べて	てコストが高い	, \ ₀			0	高い	O :	適当		増加に伴込まれる			高い	0	適当
	効	2.	他の実施主体	本のノウハウヤ	や新たな制度	₹を活用できる。		0	できる	•	できない	施内容等	をまれる。 の見直し			できる	0	できない
	率性	3.	予算・人員と	上成果の関係で	で、実施手段	と等を見直す余5	也がある。	0	ある	O	ない	ます。				ある	•	ない
		4.	電子化や契約	内方法の変更な	よどにより=	1スト削減の余均	也がある。	0	ある	0	ない	1				ある	•	ない
					一次	評価							=:	欠評価				
	評値	五点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価		必要性	<u> </u>	有効性	達成原	要 効	率性	総	合評	価
		後の	4 ○ 拡大·充	4 E実 ⊚ 現丬	 4 + ※# += /	 4 〕方法改善	A	1年	0	<u>4</u> +÷+	<u> </u> •充実	4 ● 現状	 4 :%#:+===	<u> </u> 〇 方法	<u>4</u> 小羊			L
		対性		□ 統合/終)廃止/休止	〇 民间安部	一				統合/終			<u>设置</u> /休止		リ女正	L 寸
A	/31	,,_				て、長年の結婚な	ナチの労なわき	2°C 1 \		시네다						との相違点	į	
CTIO		重の題	民に顕彰して が、今後高齢	いく機会を設け	tる事業として まれ経費の ¹	「継続していく必要 増加も考えられる	要性は高いと思	います	す 内	连宝饰!			の検討を				•	
N	と3 計	画				。これまでの実施 先と事務事業に1			ころ	元 一元	ンはいり	、	アマノ「大百」で	C (V) C A	7 0			
		員会 事項																

	No. 16 —	14 基本事務事	業名 高齢	者共同生活	施設管理委託事務	8 事務事	業名	高齢	者共同生活施設	と 管理委託	事務し	公的関与 5 シ	一卜作成日 令和5	年6月15日
	部局名	健	康福祉	•	課名	社会福	祉課		主務課長名	名	笠井	孝彦 シー	-卜作成者名 原	田多賀子
	事業区分	○ 1 ソフト事	業		3 経常的事務署	事業 ()5 補	助金	⋧・負担金・支	援東	業運営	方法 1 直		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持管	管理 (6内	部管	管理事務・そ <i>σ</i>)他 ^華	木连音			補助等
		基本構想(政			やかな阿波				実施計画				の開始・終了	
	総合計画	基本計画(施			援の充実				1 該当			3 年 ~ 令	和 8 <mark>年 □ 期</mark>	間設定なし
		主要施策	(2)	高齢者サ	ービス提供体制	別の充実		0	2 非該当	村	视法 [·]	令等		
		対象(誰を、 何を)	おおむね	ւ65歳以上	の自立者で、独り	ま世帯又に	はその同	司居者	者が配偶者若し	くは高齢	者であ	り、年間の所得が	『世帯で130万円以下	の者
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	管理委託: を目的とし		こよる運営	への移	多行を	目的とします。	さらに恒	常的に	満床を目指し、入	居者の安定的な生活が	が営まれること
P L			今年度	恒常的に	満床を目指し、入	居者の安	定的な	生活	が営まれること	とを目的と	します	0		
A					ますか。(主な :									
N		0 1 11			『管理料を出し、									
	事業の				りには、①阿波市	公告式条	例に定	める	掲示場に公告	②市の広	報紙③	市のCATVのいず	゛れか2以上による公募	F 0
	活動内容	③ 入居者の.		-										
					選考等。含めた入	居者の選	考等。							
		⑤ 敷金の納							Δ TΠ	<i>-</i>	^	10 · 5 · 5	A10 - 5 - 5	
		指標名	1	計算式又	は指標設定理日	自 単位	-	+===	令和 3		审	和 4 年度	令和 5 年度	最終目標
	数値目標	入居状況		全12室		室	実			12 12		12 12		2
	(事業の目的 及び活動内						目			12		12		
	容の達成度						実							
	を測る指標)						目							
							実							
	予算費目	会計		一般:	会計	款		民生	費	項	2 7	8人福祉費	目 1 老人福	祉総務費
				·和 3	年度決算	令和	4	1	年度決算	令和	5	年度予算	備考	
		国庫支出			千日				千円			千円		
		県 支 出	金		千日				千円			千円		
	直接事業費	地 方	債		千日				千円			千円		
D		その他特定則			1 000 = 1				千円			千円		
0		一般財 計(A)	源		1,820 千	_			1,820 千円			1,820 千円		
			及弗 ೧	004 人	1,820 千日 24 千日		· 人		1,820 千円 24 千円	0.004	1	1,820 千円 24 千円		
		上 戦 貝 上 数 不 会計年度任用職員		004 人	24 +1	0.004	· /\		24 干円	0.004	<u>Д</u>			
		会計年度任用職員工数		人	0 ∓i	Ч	人		0 千円		人	0 千円		
	全体事	業費(A+B)			1,844 ∓F				1,844 千円			1,844 千円		

					ェック項目					_	次評価	<u></u>		_	-次評価(の説	明		二次	評価	Б
		1.	市が実施しな主体があり、				が確保できる等 ジ響は大きくな		0	少ない	•	大きに		高いよう	の相談が ですが、要	件等	が満たさ	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	は況の中、次年	年度以降実	施す	る緊急性が認	思められない。		ない	•	ある			できない			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の向	上のために、	現在の手段	〉、方	法等の改善の無	余地がある。	0	ある	•	ない		す。八店	安件寺の	快削 /	い必安で	0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズの 上回るサービ			隣自	治体と比較し	ノてニ ー ズを	0	いる	•	いなし	Λ.					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	、事業内容	『が必	ずしも適切とに	まいえない 。	0	いえなし	γ <u>Θ</u>	いえる	,		齢者専用ないため、			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、	施策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	γ	いえる	5		は高いです		NE IIX V	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で	類似・重複	した	事務事業が存	存在する。	0	する	0	しない	١					0	する	•	しない
CHECK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期	待て	きない。		0	できなし	,	できる	5					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	岩っている	3		ある場合・募集してい			0	目標に比べ	べて劣	うっている
	達	2.	目標設定に対	して成果が	あまり上が	うて	こいないと思う	; .	0	あまり上	がってし	いない		八石石で	一番来して	, . .	0	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目れ	票を達成し	てし	いると思う。		0	概ね達	成してに	いる						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	して十分に	目標を達成	えして	いると思う。		0	十分達	成してし	いる						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	, \ ₀				0	高い	0	適当			ある場合・募集してい			0	高い	•	適当
	効	2.	他の実施主体	「 のノウハウ	や新たな制	度を	活用できる。		0	できる	•	できた	١٦٤	八店白で	茶果して	いより	0	0	できる	•	できない
	率性	3.	予算・人員と	:成果の関係:	で、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更	などにより	コス	、ト削減の余地	也がある。	0	ある	•	ない						0	ある	•	ない
					_	次評	·価								Ξ	次評	価				
	評化	甲	必要性	有効性	達成原	吏	効率性	総合評	呼価		必要	性	4	与 効性	達成	支	効率性	生	総	合評	产価
	△ ½	を の	4 ○ 拡大·充	4 実	4 :	0	<u> 4 </u> 方法改善	A ○ 民間委	千笙		4 坊-	<u> </u> 大•充	<u> </u>		<u> 4 </u> 犬維持		4 方法改善	É		A 表	1年
		句性	○ 縮小		以 以 以 以 則 設 定		<u>/// </u>	〇 民间安日	——————————————————————————————————————	_)縮/		$\widehat{\bigcirc}$	統合/終			<u>万丛设。</u> 廃止/休		O KIR	134	16.47
C			O III	0 11021			11 =					_	二次		指摘事項				の相違点	į	
ACTIO			市場高齢者共 持管理経費の			大備等	に老朽化が進	んでいるため	、今後		比の等	李理 体:	生 !! か	14:21 1	居者の状	辺を [ヨたが ら	1目小:	維持で継	結:	
N	وع	革案 実行 画	計画的に施設 を行います。	の改善を図り	、安心して	入居	者が生活できる	るよう、現状維	持で誓		V. 62	⋾⋘⋫	יס ניווי	小八ルこ人	ᆸᆸᄽᄿ	<i>,,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		シレカベ	1年1月 乙州区	ույս Մ	~ 7 0
		員会 事項																			

	No. 16 —	15 基本事務事	業名 市場	老人福祉も	マンター管理委託業	養務 事務事	事業名	市場老人福祉も	マンター管	管理委託業務	务 公的関与	9 シ	ート作成	日 令和5:	年6月16日
	部局名	優	康福祉	部	課名	社会社			果長名		注井 孝彦	シー	-ト作成者	名 原	田 多賀子
	事業区分	○ 1 ソフト?	事業		3 経常的事務	事業 () 5補	助金·負担金	È∙支援	車業	運営方法	1直	営	∠ 3	全部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業	•	4 施設の維持	管理 () 6内	部管理事務	・そのイ	他	建	_ 2 -	-部委託	4	補助等
		基本構想(政	(策) 1.	やさしく傾	やかな阿波			実施計	画			事業	の開始・	終了	
	総合計画	基本計画(施	<mark>策)</mark> (3))高齢者3	5援の充実			● 1 該当		平成	30 年	<mark>~</mark> 令	和 4	年』期	間設定なし
		主要施策	(2)	高齢者は	ナービス提供体	制の充実		○ 2 非該当	当	根拠	l法令等				
		対象(誰を、 何を)	市場老人	人福祉セン	ターを利用する	高齢者									
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	健康の増 委託しま	進、教養の向上 す。	-等、老人福	量祉の発	展に寄与する	ため、	福祉サービ	ごス等を提供	する社会	福祉協議	会に施設の	維持管理業務を
PL		たいのか)	今年度	委託しま				展に寄与する	らため、	福祉サービ	ごス等を提供	する社会	福祉協議	会に施設の	維持管理業務を
A					いますか。(主な										
N)			寺管理のため、				託してし	います。					
	事業の)	繕及び備	情品が必要	なときは、協議し	して修繕、則	構入して	います。							
	活動内容	3													
		4													
		5		T=1.45 10 -		1		1 4 5			A ==		A ==		
		指標名	<u> </u>		スは指標設定理				3 左	丰度	令和 4	年度	令和	5 年度	最終目標
	数値目標	施設の利用人数		│総稼働日 │人数	から算出した延	べ 人	目			4000		0000			
	(事業の目的			八奴			実			4629		3826			
	及び活動内 容の達成度						実								
	を測る指標)			1			目								
							実						_		
	予算費目	会 計		— 40	:会計	<u>±</u>		<u>怪</u> 民生費		項 2	2 老人福祉	⊩费		1 老人類	·····································
	了开兵口	Д П	수		3 年度決算				1笛	令和		度予算		備考	日 工作
		国庫支出		7 TH		并		1/2//	千円	PTH	0 1	汉] 		ני מוע	
		県支出	金			千円			千円			千円			
	I	地方	債			千円			千円			千円			
D	直接事業費	その他特定則				千円			千円			千円			
0		一般財	源		4,810 =	千円		4,810	千円		5,	050 千円			
		計(A)			4,810 =	千円		4,810	千円		5,	050 千円			
		正職員工数:	経費 0.	.004 人	24 =	千円 0.00	4 人	24	千円	0.004 人		24 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員	職種				,								
		会計年度任用職員工	数·経費	人	0 =	千円	人	0	千円	人		0 千円			
	全体事	業費(A+B)			4 834 =	千円		4 834	千円		5.0	074 千円			

					ック項目				— ;	欠評価	Ī	_	-次評価の	り説明			二次	評価	í
		1.				が確保できる等 影響は大きくな		0	少ない	•	大きい	の場所や	が進み、老ん 生きがい	を高め	たり知	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政状	代況の中、次年	F度以降実施	する緊急性が認	忍められない。	0	ない	•	ある		;する等の [;] 引いです。	場所と	して必	0	ない	•	ある
	性					方法等の改善の		0	ある	•	ない	女江"。	10.C9°			0	ある	•	ない
		4.)低下がみられ ごスとなってし		自治体と比較し	_ン てニーズを	0	いる	•	いない					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を実	実現するために	、事業内容が	必ずしも適切と	はいえない。	0	いえなし	,	いえる		が進み、ます か性が高ま			0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、カ	施策への貢献原	度が著しく高いと	はいえない。	0	いえなし	,	いえる	す。	11170 10100	UC .	,,,,	0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	施策の中で数	頁似・重複し	た事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない					0	する	•	しない
KOHHOK		4.	事業の継続を	しても成果の	の向上が期待	できない。		0	できない	\	できる				•	0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	けして進捗状況	兄が劣ってい	ると思う。		0	目標によ	比べて劣	っている		防対策につ回復して			0	目標に比り	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	して成果があ	あまり上がっ	ていないと思う	5 。	0	あまり上	がってい	ない	-09C9	プ凹接して	.6.4.9	0	0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	けして概ね目標	票を達成して	いると思う。		0	概ね達別	或してい	 る					O :	概ね達成	してい	3
		4.	目標設定に対	†して十分に目	目標を達成し	ていると思う。		0	十分達	成してい	る					0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	コストが高い	N _o			0	高い	•	適当		里事業のた]かどうかの			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	のノウハウャ	や新たな制度	を活用できる。		0	できる	•	できない		J/3 C J/3 0		<i>UI</i> 3 2.	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	成果の関係で	で、実施手段	等を見直す余均	也がある。	•	ある	0	ない					•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	方法の変更な	ょどによりコ	スト削減の余均	也がある。	0	ある	•	ない					0	ある	•	ない
					一次					•				次評個	-				
	評值	五点	必要性 4	有効性	達成度	効率性	総合評	·価		必要	生	有効性	達成原	支	効率性	生	総	合評	価
	全名	を の	4 ○ 拡大·充	 4 :実 ┃	<u> 3</u> 犬維持 <i> (</i>	_ 3 〕方法改善	A O 民間委i	千等	C	<u>4</u>) 拡え	<u> </u> 、充実		3 	O 7	<u>3</u> 5法改善	£		A 表記	 f 生
A)		(統合/終			O POINTS II					統合/終			<u> </u>		<u> </u>		<u>• • • • • • • • • • • • • • • • • • • </u>
C				り適正な体制	を維持できる	ように事業の充実	まを図っていくと	1,‡حرما	Έ.		二次)指摘事項	及び	一次評	価との	の相違点	į	
CT-0			指定管理料の)見直しも考え ^っ が増えています	ていく必要が すが、施設を <mark>:</mark>	あります。施設の 安全に使用できる)老朽化が進ん	でい	るた か、	状の管	· 理休制2	こ目 かがら	、管理適正	∵化 答	5冊料の	目直Ⅰ	かどを椅	à≣ d ∣	+ +
N	と 計	草案 実行 画				の指定管理料と i正化を検討して			いま	W~/ E	一工 [竹 印](- 76.678.23	、日子尼亚	. 10 (6	1- 1 47V)	, <u>н</u> С	- AC C 19	(n) (υ 7 o
		員会 事項																	

	No. 16 —	16 基本事務事業	名 長美	F祝金支 約	哈事業	事務事	業名長	長寿祝金支糺	給事業			公的関与 3 シー	ート作成日 名	3和5年	6月7日
	部局名	健原	東福祉	邹	課名	社会福	祉課	主務認	果長名	i	笠井		-卜作成者名		卞 咲良
	事業区分	○ 1 ソフト事			3 経常的事務) 5 補助	助金∙負担金	读・支持	爰 東当	学 :雷子	o'	営		部委託
	争未应力	○ 2 ハード事	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		4 施設の維持	管理	6 内部	部管理事務		他	大连,			✓ 4 補	助等
		基本構想(政策						実施計	·画				の開始・終了		
	総合計画	基本計画(施策			援の充実		(● 1 該当		平月		17 <mark>年 ~</mark> 令			設定なし
		主要施策	(4)	安心な生	活の確保		(○ 2 非該当	<u> </u>	根	拠法	令等 阿波市長	寿祝金支給条例	j	
		対象(誰を、 何を)	年度の									00歳以上の高齢			
	事業の 対象・目的	目的(どうい 量う状態にし	是終的	高齢者に ています。		支給するこ	とにより、	、その長寿を	祝福す	トるとともに	こ敬き	老思想の高揚を図り	J、もって高齢者:	福祉の均	曽進に寄与し
PL		たいのか) 4	今年度												
AN		具体的にどの。	ような活	5動を行し	ゝ ますか。(主な	もの5つま	きで)								
N		① 77歳の方に													
	事業の	② 88歳の方に													
	活動内容	③ 99歳の方に													
)		-	0円を支給します	-									
)	した方		その年に限り、」								A	_	
		指標名		計算式又	(は指標設定理)	由単位		令和	3 1	丰	行	介和 4 年度	令和 5 年	-	最終目標
	数値目標 (事業の目的	対象者(77歳以上)				人	目標実績			737		707			
	及び活動内 容の達成度	対象者(100歳到達	者)			人	目標実績			17		11			
	を測る指標)						目標								
							実績								
	予算費目	会計		一般	会計	款	7 3 医	民生費		項	2	老人福祉費	目 1 老	5人福祉	Ŀ総務費
			令	·和 3	3 年度決算	「 令和	4	年度決	:算	令和	5	年度予算		備考	
		国庫支出:			千	円			千円			千円			
			金		千				千円			千円			
	直接事業費		債		千				千円			千円			
D	匹汉于水文	その他特定財				円			千円			千円			
0			源		8,370 ∓			7,740				9,496 千円			
		計(A)	# ^	000 1	8,370 +		\	7,740		0.000	, ,	9,496 千円			
	1 /4 悪 / 5 \	正職員工数·経		333 人	2,028 千	円 0.330	八人	1,994	千円	0.330	人	2,000 千円			
	人件費(B)	会計年度任用職員職		, 1	0 -	m			- C		, ,	0 ==			
	全 体重	会計年度任用職員工数·組 業費(A+B)	在其	人	0 ∓ 10,398 ∓		人	9,734	チ円		<u> 시</u>	0 千円 11,496 千円			
	■ 土冲尹:	木貝(ATD)			10,350 +			3,734	一一门			11,430 十円			

						ック項目					一次	(評価		_	·次評価の	D説明			二次	評価	5
		1.						確保できる等 響は大きくな		0 :	少ない	大き	きい		り、長寿を	を祝福し	敬老	0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政制	犬況の「	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	ぬられない。	0 1	ない	ある		思想の高事業です		必要性(の高い	0	ない	•	ある
	生性	3.	住民満足度の「	句上のか	ために、耳	見在の手段	、方	法等の改善の余	戻地がある。	O 7	ある	ない	١	尹未じり	0			0	ある	•	ない
		4.	住民ニーズ <i>0</i> 上回るサーヒ				隣自	治体と比較し	<i>、</i> てニーズを	0 (いる	● いお	ίlγ				•	0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を顕	実現する	るために、	事業内容	が必	ずしも適切とは	はいえない。	0 (いえない	เงลิ	る	この事業 者福祉の	を行うこと			0	いえない	•	いえる
	有効	2.	事業内容のマン	ノネリ化	たなど、施	策への貢献	献度が	ぎょく高いと	まいえない 。	0 (ハえない	● いえ	.a	ています。		<i>an</i>		0	いえない	•	いえる
C	姓	3.	市が実施する	る施策の	の中で類	似・重複	した	事務事業が存	在する。	0 7	する	しな	il١]				0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続を	きして:	も成果の	向上が期	待で	きない。		0 1	できない	● でき	る					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	すして	進捗状況	が劣って	いる	と思う。		0 1	目標に比	べて劣ってし	いる	対象者全ため適切				0	目標に比	べて生	らっている
	達世	2.	目標設定に対	すしてん	 成果があ	まり上が	って	いないと思う	0	O a	あまり上か	「っていない		ます。	ᄻᄭᄱᅂᅩ	a)) [0	あまり上が	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	すして	概ね目標	を達成し	てい	ると思う。		○ #	既ね達成	している						0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	すして-	十分に目	標を達成	して	いると思う。		O -	十分達成	している						•	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	こコス	トが高い	· o				O i	高い	適当	当	令和元年原ため、平成				0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主体	‡のノ ′	ウハウや	新たな制	度を	活用できる。		0 1	できる	でき	ない	約3000万F		ています	。この	0	できる	•	できない
	性	3.	予算・人員と	:成果(の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	がある。	O 7	ある	ない	١	齢者などの		に対応し	た「デ	0	ある	•	ない
		4.	電子化や契約	为方法(の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	゚゚ゕ゙゙ある。	O 7	ある	ない	١	れています	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	天切に	амс	0	ある	•	ない
							次評·	•		•						次評価					
	評值	五点	必要性	有	効性	達成原	支	効率性	総合評	価	į	必要性	1	有効性	達成原	支	効率性	ŧ	総	合評	価
	全名	後の		<u> </u>	<u>4</u> ┃ ⑥ 現状	4	$\overline{}$	4 方法改善	A ○ 民間委記	千筀	0	4 拡大∙充	<u> </u> 宝	4 ┃ ● 現状	4 ` 維持	〇 方	4 法改善	Ė	○ 民間	A 【委】	千生
Λ		う性	○ 縮小		統合/終			廃止/休止	<u> </u>		Ŏ	縮小	ÎÒ	統合/終			止/休		0 2012		
AC					-								二次	評価での		夏及び-	一次評	価と	の相違点	į	
T-0			令和元年度に ら行っていく <i>の</i>				います	ので、当面は	この型で様子を	を見なが	支約]が見込ま						 行福礼	とに寄与
N	改革と写計							かに該当する 度に実施してい	方への「節目す ゝます。	 泛給」及	び	いますの	で、財	す政状況を	踏まえなた	がら事業	美の存続	に努	がます。		
		会 事項																			

	No. 16 —	17 基本事務事	業名 高歯	冷者労働的	能力活用事業	事務	事業名	高齢者労働	能力活	用事業	公的関与	9 シ	一卜作成日	令和5年	6月16日
	部局名	健	康福祉	部	課名	社会	福祉課	主務	課長名	Ž	笠井 孝彦	シー	-ト作成者名		1 多賀子
	事業区分	○ 1 ソフト引			3 経常的事務			i助金·負担st			運営方法		営		全部委託
	争未区力	○ 2 ハード			4 施設の維持	管理	6 内	內部管理事務		他	廷占刀仏		-部委託	✓ 4 ¾	亅
		基本構想(政			やかな阿波			実施記	一画				の開始・終了	7	
	総合計画	基本計画(施			援の充実			● 1 該当		平成		~ 令	和 <mark>年</mark>	✓ 期間	設定なし
		主要施策	(3)	生きがい	づくり・社会参	加の促進	<u>售</u>	○ 2 非該	当 <u></u>	根拠	心法令等				
		対象(誰を、 何を)	高齢者の		者の方が対象で										
	事業の 対象・目的	目的(どういう状態にし	最終的	高年齢退墹りその就業 します。	者の希望に応じた。 を援助して、高年齢	就業で、臨時 者の生きが	等的かつ短 いの充実、	期的なもの又はそ 社会参加の推進	・の他の軽を図ること	≩易な業務に ≤により、高年	係るものの機会 齢者の能力を	会を確保し、高 生かした活力	高年齢者に対して 1のある地域社会	組織的に提 づくりに寄与	供すること等によ することを目的と
PL			今年度	高齢者に	適する仕事の摂	是供等を行	う阿波市	ラシルバー人材	オセンタ	一に補助金	金を交付し、	その活動を	を支援します。		
AN		具体的にどの	ような活	舌動を行し	ゝますか。(主な	よもの5つ	oまで)								
N		① 阿波市シ	ルバー人	、材センタ-	-に対し、補助金	きを交付し	<i>.</i> ます。								
	事業の	② 事業内容	等の精査	歪事務											
	活動内容	3													
		4													
		5													
		指標名		【左集信	スは指標設定理	曲 単			3 年	丰度	令和 4	年度	令和 5	年度	最終目標
	奴旧口 尔	シルバー人材セン数	ター会員			人		標		335		332			
	(事業の目的 及び活動内	**						標		335		332			
	及び活動内 容の達成度							績							
	を測る指標)							標標							
								績							
	予算費目	会 計		一般	会計			民生費		項	2 老人福祉	业費	目 1	老人福祉	业総務費
			令	ì和 (3 年度決算	算 令	和	4 年度》	算	令和	5 年	度予算		備考	
		国庫支出	金		=	千円			千円			千円			
		県 支 出	金		=	千円			千円			千円			
	直接事業費	地方	債		=	千円			千円			千円			
D	正汉于不负	その他特定則				千円			千円			千円			
0		一般財	源		10,600 =			10,600				600 千円			
		計(A) 工咖啡工業 4	又世。今	004	10,600 =		204	10,600	千円	0.004		600 千円			
		正職員工数・組織		004 人	24 =	+H U.C	04 人	24	千円	0.004 人		24 千円			
	八計頁(D)	会計年度任用職員会計年度任用職員工数		人	0 =	T []	人	0	千円	<u> </u>		0 千円			
_															

				チ:	ニック項目				— 2	欠評価		_	·次評価 <i>0</i>)説明	_	.次評	価
		1.		ょくても、公 ³	平性・公正性	生が確保できる等 も影響は大きくな		0	少ない	大	きい	定年退職	者等の人	コが増加傾 の安定した	○ 少ない		<u>大きい</u>
	必	2.				をする緊急性が認		0	ない	● あ?	<u>る</u>	生活及び	高年齢者の	の生きがいと	○ ない		 ある
	要性	3.	住民満足度の「	ー 句上のために、	現在の手段、	方法等の改善の余	 余地がある。	0	ある	ない	い			図り、安定し)賃金確保に	<u></u>		ない
	1	4.		D低下がみられ ごスとなってし		隣自治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	● い	ない		必要性は高		○ いる		いない
		1.	施策の目的を調	実現するために	、事業内容が	が必ずしも適切とは	はいえない。	0	いえない	● い	える			で、成果の か性は高いで	○ いえな	い	いえる
	有	2.	事業内容のマン	/ネリ化など、	施策への貢献	度が著しく高いと	はいえない。	0	いえない	● い	える	す。	IN CC.HX	が上の向り、C	○ いえな	い	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の中で類	頃似・重複し	した事務事業が存	存在する。	0	する	● し#	ない				○ する	(しない
KOHHCX		4.	事業の継続を	としても成果の	の向上が期待	寺できない。		0	できない	● で	きる				○ できな	い (できる
CK		1.	目標設定に対	対して進捗状況	兄が劣ってし	いると思う。		0	目標に比	とべて劣って	いる			中で労働力 民からのシ	○ 目標に	比べて	劣っている
	達	2.	目標設定に対	対して成果がる	あまり上がっ	っていないと思う	5 。	0	あまり上が	がっていない	١	ルバー人	材センター	へのニーズ	○ あまり」	上がって	こいない
	成度	3.	目標設定に対	対して概ね目	票を達成して	ていると思う。		0	概ね達成	大している			高く、事業 ています。	の目的を十	の 概ね達	成して	เงอ
	^	4.	目標設定に対	付して十分に	目標を達成し	していると思う。		H-		戊している		77.2.7%0	C 0 0 7 8		● 十分遺	成して	いる
		1.	効果に比べて	てコストが高い	,۱۰			0	高い	適	当			努力をする 修等の実施	○ 高い		適当
	効	2.	他の実施主体	[‡] のノウハウ ²	や新たな制度	度を活用できる。		0	できる	● で	きない	も行ってし	いますが、	士事と人材の			できない
	率性	3.	予算・人員と	☆成果の関係~	で、実施手具	没等を見直す余地	也がある。	•	ある	ない	い		ブが難しく丿 くい状況で	、材確保に結 す。	ある		ない
		4.	電子化や契約	カ方法の変更7	などにより=	コスト削減の余地	也がある。	0	ある	ない	い				○ ある		ない
					一次	マ評価							二》	欠評価			
	評値	五点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	:	必要性	1	剪効性	達成度		性	総合	評価
			4 ○ 拡大·充	4 実 ⊚ 現 [×]	 4 + 4# +± 1	<u> 3 </u>	○ 民間委 記	七生		4 拡大∙3		4 ● 現状	4 ₹維持	3 ○ 方法改 [:]	¥	月 日日 年	<u>\</u> ē託等
		後の 句性	○ 縮小			○ 方法改善 ○ 廃止/休止	〇 民間委託	10寸			元美	統合/終		○ 万云以· ○ 廃止/休		に削乏	一一
A	731	.) I.T.	○ WE-1.			○ 提正/ 怀正			$\overline{}$	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\)			及び一次評		占	
ACH-O		重の題		要があります。		の促進を図るとい 財源への負担も3			才源	学仕 温え ほ			が必要です。		MC 47 12		
X	と事 計	草案 官行 画	シルバー人材 す。	ーーー †センターとヒア	 リングを行し	い、安定的な経常	――― 経費の確保が	必要で		コハルで	λ <u>Γ</u> ,Φ/Ί,	つ、水川水刀	·必安 () 。				
		員会 事項															

	No. 16 —	18 基本事務事	業名 入浴	労助成券3	を付事業	事	務事業律	3 入浴	労助成券3	交付事	事業	公的	関与 3	シート	作成日	令和5	年6月5日
	部局名	侹	康福祉	部	課名	社:	会福祉詞	果	主務認	果長名	7	笠井 孝	彦	シート	作成者名	3 岁	建 亜子
	事業区分	● 1 ソフト			3 経常的事務				金·負担金		4 4	運営方	· I	1 直営			全部委託
	争未应力	○ 2 ハード	事業		4 施設の維持	寺管理	0 6	内部	管理事務 [·]	その	他	建呂刀	五	2 一部	委託	√ 4	補助等
		基本構想(政	(策) 1.	やさしく健	やかな阿波				実施計	画			1	事業の	開始∙終	了	
	総合計画	基本計画(施		高齢者支	援の充実			(1 該当		令和			令和	白	F J 期	間設定なし
		主要施策	(4)	安心な生	活の確保			0	2 非該当	4	根	処法令等	手				
		対象(誰を、 何を)	対象者に 福祉手帳	、各年度(の交付を	の4月1日時点 受けている方で	において ごす。	、阿波市	在住(か65歳以.	上の方	5、及び身 [,]	体障害者	手帳(1級	(~4級)	又は療育	育手帳、精	神障害者保健
		目的(どういう状態にし	最終的	入浴助成	券を交付するこ	ことにより	り、社会福	温祉の均	増進に寄与	すする	ことを目的	とします。	o				
PL		たいのか)	今年度														
AN		具体的にどの	りような活	5動を行し	ゝますか。(主	なもの5	つまで)										
N		① 入浴助成	券の交付	t													
	事業の	2															
	活動内容	3															
		4															
		5															
		指標名	3		(は指標設定理		单位		令和			令和			令和 5	年度	最終目標
	数値目標	入浴助成券利用延	正べ人数		ならず多数の利	利用		目標			61,000		35,0			35,000	
	(事業の目的			を目指す	ためです。			実績			26,450		27,9	55			
	及び活動内							目標									
	容の達成度 を測る指標)							実績									
	EMI 01111X/							目標									
	予算費目	스						実績			75						
	丁 异复日	会 計		`和 3	3 年度決	哲 2	款 5和	4	年度決	笘	項 令和	5	年度予	哲	目		
		国庫支出		TH C		异 T 千円	3 个口	4		异 千円	サ和	υ			· · · · · · · · · · · · · ·		 で、一般財源
		県支出	金			千円				千円							ければならな
		<u>宗 又 山</u> 地 方	債			千円				千円				т m (,)	ため. 事	業の見ば	しを検討する
D	直接事業費	その他特定則				千円				千円				业	要があり	ます。	
O		一般財	源		7,935				8,387				9,504				
		計(A)	ars.		7,935				8,387				9,504				
		正職員工数・	経費 0.	416 人	2,533		.416 人		2,514		0.416			<u> </u>			
		会計年度任用職員							-,			,	_,	. , -			
	,	会計年度任用職員工数	牧·経費	人	0	千円	人		0	千円		\	0	千円			
	全体事業	業費(A+B)			10,468	千円			10,901		·		12,025				

					チェ	ック項目					_	-次評信	西		_	-次評価(の説り	明		二次	(評価	Б
		1.						、確保できる等 と響は大きくな		0	少ない	,	大き	い	一定数0	所に入浴)利用者か			0	少ない	•	大きい
	必要	2.	厳しい財政	犬況の ロ	中、次年	度以降実	施す	る緊急性が認	忍められない。	0	ない	0	ある		がある事	業です。			0	ない	•	ある
	性	3.	住民満足度の	向上のカ	こめに、耳	現在の手段	と、方	法等の改善の急	余地がある。	•	ある	0	ない						•	ある	0	ない
		4.	住民ニーズの上回るサート				隣自	治体と比較し	ノてニーズを	0	いる	•	いな	ر،					0	いる	•	いない
		1.	施策の目的を	実現する	るために、	事業内容	が必	ずしも適切とは	まいえない 。	0	いえな	い	いえ	3	社会福祉 効な事業	上の増進に	寄与	する有	0	いえない	•	いえる
	有	2.	事業内容のマン	ンネリ化	たなど、施	策への貢	献度な	が著しく高いと	はいえない。	0	いえな	い ()	いえる	る	<i>7</i> 0.0 + 7				0	いえない	•	いえる
C	効性	3.	市が実施する	る施策の	の中で類	似・重複	した	- 事務事業が存	存在する。	0	する	•	しない	い					0	する	•	しない
HE		4.	事業の継続	をしても	も成果の	向上が期	待で	きない。		0	できな	ι (できる	3					0	できない	•	できる
CK		1.	目標設定に対	対してi	進捗状況	!が劣って	いる	と思う。		0	目標に	比べて貧	劣ってい	る		度以降の			0	目標に比	べて劣	っている
	達	2.	目標設定に対	対して原	 成果があ	まり上が	うて	いないと思う	; .	•	あまり_	上がってし	いない		コロナ禍	の影響に	よる源	划が、	•	あまり上か	ってい	ない
	成度	3.	目標設定に対	対して相	既ね目標	を達成し	てじ	いると思う。		0	概ね道	を成してに	いる		今後改善 あります。	きするか注 。	視す	る必要が	0	概ね達成	してい	る
		4.	目標設定に対	対して-	十分に目	標を達成	して	いると思う。		0	十分通	達成しては	いる						0	十分達成	してい	る
		1.	効果に比べて	てコス	トが高い	\ ₀				0	高い	0	適当	í		対して、和り、費用対			0	高い	•	適当
	効率	2.	他の実施主任	本のノ「	ウハウや	新たな制	度を	活用できる。		0	できる	0	できれ	ない	と、必ずし	しも効果的				できる	•	できない
	坐性	3.	予算・人員の	と成果の	の関係で	、実施手	段等	を見直す余地	也がある。	•	ある	0	ない			ります。 芸等の見直	[しの:	余地があ	•	ある	0	ない
		4.	電子化や契約	約方法(の変更な	どにより	コス	ト削減の余地	也がある。	0	ある	0	ない		ります。				0	ある	•	ない
							次評										次評					
	評值	西点	必要性 3	有	効性 4	達成月	更		総合評	·価		<u>必要</u> 3		1	i 効性 4	達成/	芰		生	総	合評 B	<u>·</u> 価
	今後	を の		実 (<u>4</u> ● 現状			5 方法改善	○ 民間委i	托等	(大・充	<u></u> 実	● 現 り			<u></u>	姜	〇民間	<u>B</u> 引委	光等
A		句性	○ 縮小		統合/終			廃止/休止		<u> </u>			小	0	統合/終		Ō	廃止/休	止			
C													-	二次	評価での	指摘事項	頁及(ゾー次評	価と	の相違点	į	
TIO								ことから、今後)見直しを行う。			ie ie					冨祉の向上						
N			必要により入	.浴施設	(関係課と	≤も連携の	うえ、	、事業の適正化	とに努めます。		<u>। १</u>	生、今後	後の利	用状	況等総合	的な観点	から、	事業の見	.直し	こついて	贪討	が必要。
		員会 事項																				

	No. 16 —	19 基本事務事	業名 避難	行動要支持	爰者名簿の作成事	事業 事業	務事業名	避難	行動要支持	爰者名	簿の作成	事業	公的関与 3 シ	/一ト作成日	令和5年	6月13日	
	部局名	健康福祉		部	課名	社会	会福祉課	;	主務認	果長名	1	笠扌		ート作成者		木 咲良	
	事業区分	1 ソフト事			3 経常的事務		_		€∙負担金			幸温	'	直営		è部委託	
		○ 2 ハード			4 施設の維持		6 F	为部 管	管理事務		他	木廷	2 -	−部委託		甫助等	
					ゝ・快適な阿波				実施計	·画				€の開始∙終			
	総合計画	基本計画(施)消防・防災の充実			● 1 該当				令			予和 年 ☑ 期間設定なし			
		主要施策			:防災・減災体			0	2 非該当				长令等 災害対策				
	事業の 対象・目的	カオハ	要介護認定 者、75歳以 です。	3~5を受け 上の高齢者(ている者、身体障害 のみの世帯又は障が	『者手帳1・ がい者の∂	・2級の第1程 みの世帯及で	を所有が難病	する者、療育 患者のうち自	育手帳A Iカ又は	を所有する 家族の支持	知的服のみ	障がい者、精神障害者 では災害時に避難が团	保健福祉手帳1 B難な者、自治:	・2級を所有する 会等が支援の必	る者で単身世帯の 必要を認めたもの	
		目的(どういう状態にし	最終的	大規模な災害が発生し、又は発生するおそれが生じた場合に自ら避難することが困難な者を、円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とします。													
PL		たいのか)	今年度														
AN			具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	事業の 活動内容)	① 避難行動要支援者名簿の作成														
)			る同意・不同意												
)	③ 消防機関などの避難支援関係者への事前の名簿情報の提供														
		④ 要支援者(の個別避	難計画の	策定												
)	(5)														
	気に口信 (事業の目的 及び活動内	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		令和 3 年月		年度	令和 4 年度		令和	5 年度	最終目標	
		避難行動要支援者名簿登録者数		禄 住民・福祉情報などから避 難行動要支援者を抽出			人 目標				2643	2643 264					
		情報提供の意思確認回答率		回答数÷新規名簿登録者 数		者(% 写 実				40 1	0 40		40			
									標								
								ミ績									
	予算費目	会計		一般	会計		款 3	民生	費		項	1	社会福祉費	目	1 社会福祉	业総務費	
				·和 3	年度決領	算一令	介和	4	年度決	:算	令和	5	5 年度予算		備考		
	直接事業費	国庫支出			=	千円				千円			千円				
		県 支 出	金	千円			千円						千円				
		地方	債	千円			千円			千円							
00		その他特定財			千円			千円			千円			_			
		一般財	源	414 千円			389 千円					5,024 千円					
		計(A)		414 千円					389 千円		0.440		5,024 千円				
	人件費(B)	正職員工数·約		416 人	2,533	千円 0.	.416 人		2,514	千円	0.416	人	2,521 千円	4			
		会計年度任用職員		, 1				_				, ,					
	۸ 44 + ع	会計年度任用職員工数	·経費	人	0 =		人			千円		人	0 千円				
	全体事	業費(A+B)			2,947 =	+円			2,903	千円			7,545 千円	1			

		チェック項目								評価		一次評価の説明				二次評価			
	必要性	1.				生が確保できる等 ら影響は大きくな	〇 少	ない	● 大き	い	台風や豪雨などの自然災害によ る被害が相次いでおり、いつ・ど				○ 少ない	•)大きい		
		2.	厳しい財政状況	なし	۸,	ある		こで起こってもおかしくない状況 に備えるため、身近な地域にお				○ ない	•) ある					
		3.	住民満足度の向	<u></u>	3	● ない		いて高齢				<u></u> ある	•	ない					
		4.	住民ニーズの値上回るサービス	○ w	3	● いな	い	難支援お 体制づくり			カ	○ เงื	•	いない					
	有効性	1.	施策の目的を実現	見するために	、事業内容が	「必ずしも適切とは	○ い [†]	えない	いえ	გ	この事業				○ いえな	ıı 🖲) いえる		
		2.	事業内容のマンネ	くり化など、別	施策への貢献	度が著しく高いと	い力	えない	いえ	る	例火态或	0) HJ 11 /J	四り10 か:	, 。	○ いえな	ı 🧿) いえる		
C		3.	市が実施するが	施策の中で 類	頁似・重複し	た事務事業が存	する	3	しな	い				○ する	•	しない			
HE		4.	事業の継続をし		<u></u> ਾ ਹੋ	きない	● でき	3					○ できな	ı, 🖲) できる				
CK	達	1.	目標設定に対し	目标	標に比り	制度改正により個別避難計画策定が努力義務となったことで、優先順位をつけ						● 目標に比べて劣っている							
		2.	目標設定に対し	して成果があ	j °	○ あま	り上が	で策定を進めていくことが求められました。現行のあり方の見直しを含めて新た						○ あまり上がっていない					
	成度	3.	目標設定に対し	〇 概) 概ね達成している			な方法を模				○ 概ね達成している							
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。						十分達成している			た。				一 十分達成している			
	効率性	1.	効果に比べてコ		〇 高	い 適当			対象者が 員・児童委				○ 高い	•) 適当				
		2.	他の実施主体の	<u></u> ਾ ਹੋ	きる	● でき	ない	事業を進			.,	○ できる	•	できない					
		3.	予算・人員と原	成果の関係で	<u></u>) ある (ない							○ ある	•	ない				
		4.	電子化や契約ス	<u></u>	3	● ない						○ ある	•	ない					
	一次評価								T	二次評価									
	評値	西点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評	価	业			有効性 達成度		复 対	率性	性総		合評価	
			4 ○ 拡大·充実	4 ≷	1 	 4 〇 方法改善	B ○ 民間委i	1.生		_ 4 拡大∙充	<u></u>	4 ● 現状	1 - 4# +±		4	<u> </u>	B 間委		
		負性		統合/終)方法改善)廃止/休止	〇 民間委託	t 寸		縮小		統合/終					い則安	10寸	
A	75 1.	311	○ ##B33 C	יייין דייין אייייין אייייין אייייין איייייין איייייין איייייייי	MIXAL () 烷亚/ 怀亚											占		
TIO		面の !題	要支援者の中で 上で、どのように していく必要がな		協議 近隣社会の互助により、高齢者・障がい者等の普段からの見守りや災害時の支														
N	と 計	画	新規名簿登録者 どについて検討	一大法な	援を行っていく体制づくりであることから、事業の推進・充実を図ります。 :														
		員会 事項																	